

# 御坂西保育所トイレ改修工事

図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
01	表紙・図面リスト	NS	E-01	電気設備平面図	1/150	M-01	特記仕様書	NS
A-01	特記仕様書1	NS	/			M-02	案内図・配置図	1/400
A-02	特記仕様書2	NS				M-03	器具表	NS
A-03	特記仕様書3	NS				M-04	平面図	1/150
A-04	特記仕様書4	NS				M-05	平面詳細図	1/30
A-05	特記仕様書5	NS						
A-06	特記仕様書6	NS						
A-07	特記仕様書7	NS						
A-08	案内図・配置図	1/400						
A-09	平面図	1/150						
A-10	平面詳細図	1/50						
A-11	改修前展開図	1/50						
A-12	改修後展開図	1/50						

特記事項				設計年月:	2025.08	工事名称	御坂西保育所トイレ改修工事	図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	A3: NS	図面番号	01
				承認	担当								



II. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。  
 ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
 ◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- (3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (5) [G]印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般 共通 事項	① 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版) ◎ 営繕工事写真撮影要領 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・ 建築物解体工事共通仕様書 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版)
	2 工事実績情報の登録	※ 適用する [1.1.4]
	③ 施工計画書	◎ 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する ◎ 品質計画、一工程の施工の確認及び施工の具体的な計画を定めた工種別の施工計画書を、当該工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 ◎ 施工計画書の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工等にならないよう適切な措置を講じる。 [1.2.2] ◎ 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※ 風速 $V_0 = ( 30 )$ m/s (平12建告第1454号第2) ※ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ◎ III ・ IV ・ 積雪区分 平12建告第1455号 別表 ( )
	4 電気保安技術者	[1.3.3] 工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・ 要 ・ 不要
	5 施工条件	[1.3.5] 下記以外は現場説明書による。 ・ 工事用車両の駐車場所 ※ 図示 ・ 資機材置場 ※ 図示 ・ 建設発生土仮置場 ※ 図示 ・ ※ 図示
	⑥ 発生材の処理等	※ 構外搬出適切処理
	⑦ 環境への配慮	[1.4.1] 化学物質を放散させない建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1) から 5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量		該当する材料
規制対象外		① JIS 及び JAS の F☆☆☆☆ 品 ② 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a 接着剤等不使用 b 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

特記事項	変更事項	設計年月: 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
		承認 担当 作図	御坂西保育所トイレ改修工事	特記仕様書 2	A3 : NS	A-02

① 一般共通事項	⑧ 材料の品質等	<p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</p> <p>d 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p> <p>f ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p>	① 一般共通事項	⑬ 完成時の提出図書	<p>○ 完成図 [1.8.1~3] [表1.8.1]</p> <p>・ 既存図面修正</p> <p>※作成する</p> <p>提出部数 ※各2部 部 (A3版第二原因図及び電子媒体 (OD-R))</p> <p>種類 ※改修標仕表1.8.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。</p> <p>※ 施工計画書 提出部数 ※1部 部</p> <p>○ 施工図 提出部数 ※1部 部</p> <p>○ 保全に関する資料 提出部数 ※2部 部</p>	4 改質アスファルトシート防水	M3D、POD、POD I、M3D I及びM4D I工法の脱気装置 ※設ける ・設けない [3.3.3]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	M3D I、M4S I及びPOAS I工法の防湿層 ・設ける ・設けない [表3.4.3]	6 塗膜防水	脱気装置 ・設ける ・設けない [3.5.3]																															
		第三種		<p>① JIS 及び JAS の F☆☆☆☆ 品</p> <p>② 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項による国土交通大臣認定品</p>	14 設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員への承諾を受ける。		シート防水		<p>断熱工法の断熱材 [3.3.2]</p> <p>※押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き 厚さ (mm) ※25</p> <p>・ 厚さ (mm)</p>	目地処理 PCコンクリートの場合 ( ) [3.5.4]																														
		⑨ 特別な材料の工法		<p>改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p>	15 設計GL		※図示		5 合成高分子系ルーフィングシート防水		<p>立上り部の保護材 [3.3.2]</p> <p>・ 乾式保護材 ※押出成形セメント板 (厚さ15mm)</p> <p>・ れんが ※JIS R 1250Iによるもの</p> <p>・ 市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック (見え隠れ部分)</p> <p>・ コンクリート</p>	脱気装置 ・設ける ・設けない [3.6.3]																														
		⑩ 施工数量調査		<p>調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2]</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]</p>	① 足場その他		<p>○ 内部足場 種別 ※きやたつ、足場板等 [2.2.1]</p> <p>・ 外部足場 [2.2.1] [表2.2.1]</p> <p>防護シート ※設置する ・設置しない</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1] [表2.2.1]</p>		6 塗膜防水		<p>防水改修工法の種類 新規防水層の種類 厚さ (mm) 施工箇所 [3.4.2.3] [表3.1.1] [表3.4.1~3]</p> <p>・ M4S I 工法 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</p> <p>・ M3S I 工法 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4</p> <p>・ POAS I 工法</p> <p>・ M3S I 工法 ・ AS I-T1 ・ AS I-J2</p> <p>・ M4S I 工法</p> <p>・ POAS I 工法</p>	防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類 [3.5.2.3] [表3.1.1] [表3.5.1] <p>・ POS I 工法 ・ S-F1 ・ S-F2</p> <p>・ S4S I 工法 ・ S-M1 ・ S-M2</p> <p>・ S-M3</p> <p>・ POS I 工法 ・ S I-F1 ・ S I-F2</p> <p>・ S4S I 工法 ・ S I-M1 ・ S I-M2</p> <p>・ S I-M3</p> <p>・ S3S I 工法 ・ S-F1 ・ S-F2</p> <p>・ S3S I 工法 ・ S I-F1 ・ S I-F2</p> <p>・ M4S I 工法 ・ S-M1 ・ S-M2</p> <p>・ S-M3</p> <p>・ M4S I 工法 ・ S I-M1 ・ S I-M2</p> <p>・ S I-M3</p>	目地処理 PCコンクリートの場合 ( ) [3.5.4]																													
		⑪ 技能士		<p>適用工事種目 技能検定作業 [1.6.2]</p> <p>防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルト防水工事作業</li> <li>・ ウレタン系塗膜防水工事作業</li> <li>・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・ 合成ゴム系シート防水工事作業</li> <li>・ 塩化ビニル系シート防水工事作業</li> <li>・ セメント系防水工事作業</li> <li>○ シーリング 防水工事作業</li> <li>・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業</li> <li>・ FRP防水工事作業</li> <li>○ 左官作業</li> <li>・ 内外装板金作業</li> </ul> <p>外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左官作業</li> <li>・ タイル張り作業</li> <li>○ 建築塗装作業</li> </ul> <p>建具改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビル用サッシ工事作業</li> <li>・ ガラス工事作業</li> <li>・ 自動ドア施工作業</li> </ul> <p>内装改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フラッシュ系床仕上げ工事作業</li> <li>・ カーペット系床仕上げ作業</li> <li>・ ボード仕上げ工事作業</li> <li>・ 鋼製下地工事作業</li> <li>○ 壁装作業</li> <li>・ 大工工事作業</li> <li>・ タイル張り作業</li> </ul> <p>塗装改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建築塗装作業</li> </ul> <p>耐震改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄骨組立作業</li> <li>・ 型枠工事作業</li> <li>・ とび作業</li> </ul> <p>コンクリートブロック・ALCパネル工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリートブロック工事作業</li> <li>・ ALCパネル工事作業</li> </ul> <p>石工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石張り作業</li> </ul> <p>植栽工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造園工事作業</li> </ul>	② 仮設工事		<p>① 仮設間仕切り</p> <p>仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材 (厚さ mm)</th> <th>充填材</th> <th>塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>※軽量鉄骨</td> <td>・ 合板 (※9.0 )</td> <td>厚さ mm</td> <td>※なし</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>※せつこうボード (※9.5 )</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管下地</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>※合板張り程度</td> <td></td> <td>※なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製扉</td> <td>※片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ あり</td> </tr> </tbody> </table>		種別		下地	仕上材 (厚さ mm)	充填材	塗装	・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板 (※9.0 )	厚さ mm	※なし	○ B種	・ 木下地	※せつこうボード (※9.5 )		・ 片面	※C種	単管下地	防火シート			仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※なし		・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・ あり	7 脱気装置	<p>防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 仕上げ塗料塗り [3.6.2.3] [表3.1.1] [表3.6.1]</p> <p>○ POX I 工法 ※X-1 ○ X-2</p> <p>・ L4X I 工法 ・ X-1 ※X-2</p> <p>・ 図示 ・ 図示 ・ 図示</p>	脱気装置 ・設ける ・設けない [3.6.3]
		種別		下地	仕上材 (厚さ mm)		充填材		塗装																																	
		・ A種		※軽量鉄骨	・ 合板 (※9.0 )		厚さ mm		※なし																																	
		○ B種		・ 木下地	※せつこうボード (※9.5 )				・ 片面																																	
		※C種		単管下地	防火シート																																					
		仮設扉		※木製扉	※合板張り程度				※なし																																	
				・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度				・ あり																																	
		12 化学物質の濃度測定		<p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。</p> <p>測定はパッシブ型採取機器により行う。</p> <p>着工前の測定 ・行う</p> <p>測定対象室 ・図示</p> <p>測定箇所数 ・図示</p> <p>報告の様式等については、現場説明書による。</p>	③ 防水改修工事		<p>1 既存防水層の処理</p> <p>既存保護層 (平場) の撤去 ・行う (範囲 ・ 図示 ) [3.2.3]</p> <p>既存防水層 (平場) の撤去 ・行う (範囲 ・ 図示 ) [3.2.4]</p> <p>立上り部の防水層撤去 [表3.1.1]</p> <p>・ 行う ( ・ POS (機械) ・ POS I (機械) ・ M4S ・ M4S I ・ S4S (機械) ・ S4S I (機械) )</p> <p>露出防水層表面の仕上げ塗装除去 [3.2.6]</p> <p>・ 行う ( ・ M4S ・ M4S I ・ M4C ・ M4D I ・ L4X )</p> <p>改修用ドレン [3.2.5]</p> <p>○ 設ける ( ・ POAS ・ POAS I ・ POD ・ POD I ・ POS ・ POS I ・ POX )</p> <p>2 既存下地の補修</p> <p>アスファルト補修の材料 ※JIS K 2207による3種 [3.2.2]</p> <p>既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6]</p> <p>3 アスファルト防水 [3.3.2.3] [表3.1.1] [表3.3.3~10]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>防水改修工法の種類</th> <th>新規防水層の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">保護防水</td> <td>・ P1B I 工法</td> <td>・ B-1 ※B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P1B I 工法 ・ T1B I 工法</td> <td>・ B I-1 ※B I-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2A I 工法</td> <td>・ A I-1 ※A I-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2A I 工法</td> <td>・ A-1 ※A-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">露出防水</td> <td>・ M4C I 工法</td> <td>・ C-1 ※C-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ M3D I 工法 ・ POD I 工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ POD I 工法 ・ M3D I 工法</td> <td>・ D I-1 ※D I-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内防水</td> <td>・ M4D I 工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P1E I 工法 ・ P2E I 工法</td> <td>・ E-1 ※E-2 (保護層は図示による)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2] [3.3.2]</p>				防水改修工法の種類	新規防水層の種類	施工箇所	保護防水	・ P1B I 工法	・ B-1 ※B-2		・ P1B I 工法 ・ T1B I 工法	・ B I-1 ※B I-2		・ P2A I 工法	・ A I-1 ※A I-2		・ P2A I 工法	・ A-1 ※A-2		露出防水	・ M4C I 工法	・ C-1 ※C-2		・ M3D I 工法 ・ POD I 工法			・ POD I 工法 ・ M3D I 工法	・ D I-1 ※D I-2		屋内防水	・ M4D I 工法			・ P1E I 工法 ・ P2E I 工法	・ E-1 ※E-2 (保護層は図示による)
	防水改修工法の種類	新規防水層の種類	施工箇所																																							
保護防水	・ P1B I 工法	・ B-1 ※B-2																																								
	・ P1B I 工法 ・ T1B I 工法	・ B I-1 ※B I-2																																								
	・ P2A I 工法	・ A I-1 ※A I-2																																								
	・ P2A I 工法	・ A-1 ※A-2																																								
露出防水	・ M4C I 工法	・ C-1 ※C-2																																								
	・ M3D I 工法 ・ POD I 工法																																									
	・ POD I 工法 ・ M3D I 工法	・ D I-1 ※D I-2																																								
屋内防水	・ M4D I 工法																																									
	・ P1E I 工法 ・ P2E I 工法	・ E-1 ※E-2 (保護層は図示による)																																								
						8 シーリング	<p>脱気装置 ・設ける ・設けない [3.6.3]</p> <p>種類 材質 設置数量 [3.3.3] [3.4.3] [3.5.3] [3.6.3]</p> <p>・ 平場部脱気型 ・ ポリエチレン樹脂 ・ ABS樹脂 ( ) m 当たり1箇所</p> <p>・ ステンレス鋼 ・ 鋳鉄</p> <p>・ 立上り部脱気型 ・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ( ) m 当たり1箇所</p> <p>・ ステンレス鋼 ・ 鋼</p>	脱気装置 ・設ける ・設けない [3.6.3]																																		
						9 とい	<p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [表3.1.2]</p> <p>・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法</p> <p>・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.1による [3.7.2] [表3.7.1]</p> <p>施工箇所 シーリング材の種類 (記号)</p> <p>外壁 ・ 鋼製建具廻り PU-2</p> <p>笠木 MS-2</p> <p>屋根 PS-2</p> <p>ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・ 適用する [3.7.7]</p> <p>エッジング材張り ・ 適用する</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (部位: ) [3.7.8]</p> <p>といの材種 [3.8.2] [表3.8.1]</p> <p>・ 配管用鋼管</p> <p>・ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP ) [G]</p>	脱気装置 ・設ける ・設けない [3.6.3]																																		
特記事項							図面名称																																			
							設計年月: 2025.08																																			
							承認 担当 作図																																			
							工事名称																																			
							御坂西保育所トイレ改修工事																																			
							図面名称																																			
							特記仕様書3																																			
							縮尺																																			
							A3 : NS																																			
							図面番号																																			
							A-03																																			

5 建具 改修 工事	15 軽量シャッター	開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 [5.10.2] [表5.10.1] 危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型） [5.10.2] 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない [5.10.2]	6 内装 改修 工事
	16 オーバーヘッドドア	開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式（手動併用） [5.11.2] [表5.11.1] スラット 材質 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） [5.11.3] 又はJIS G 3322（塗装溶融亜鉛-55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯） ・ 鋼板 形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製SUS304（厚さ1.0mm） [表5.11.2]	
	17 ガラス	耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup> 板ガラスの種類、厚さ等は建具表による ・ ガラスブロック [5.13.2] [5.13.5] 表面形状 呼び寸法（mm） 厚さ（mm） 色 調 防火認定 ・ 正方形 ・ 6.8 ※クリア ・ 熱線反射 ※なし ・ 長方形 ・ 乳白色 ・ カラー（ ） ・ あり ガラス留め材 [5.13.2] [表5.13.1] 建具の種類 材 種 アルミニウム、樹脂製 ※シーリング材 ・ ガスケット（FIX部はシーリング材） 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を。 受けた条件による 板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.13.3] 改修標仕5.12.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は （社）日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、 性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。 ガラス用フィルム 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止率 D1 ・ 品質JIS A 5759による	

6 床張り 用合板 及び その 他の 合板	① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6.1.3] ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 [6.1.3] ※既存のまま ・ 図示の範囲																																																																									
	② 既存床の撤去並びに下地補修	・ 寄木フローア等の除去 ※仕上材のみ（接着剤共） [6.2.2] ・ 下地木組共（※図示の範囲 ・ 除去範囲すべて） ・ 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 [6.2.2] ○改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6.2.2]																																																																									
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] [4.4.9] ※モルタル塗り（塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない） ・ 図示																																																																									
	4 木材	表面仕上げの程度 ・ A種 ※B種 ・ C種 [6.5.1] [表6.5.1] 現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・ B種 保存処理木材 ・ 使用する（使用箇所： ） [6.5.2] 構造材及び下地材の品質の基準 ※改修標仕6.5.2(a)(2)(iv)による [6.5.2] 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・ B種 [6.5.2] [表6.5.4] 代用樹脂を使用しない箇所（ ） [6.5.2] [表6.5.4]																																																																									
	5 集成材等	集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 [6.5.2] 構造用集成材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>強度等級</th> <th>材面の品質</th> <th>接着性能</th> <th>樹種名</th> <th>寸法（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1種 ※2種 ・ 3種</td> <td>・ 使用環境A ・ 使用環境B ・ 使用環境C</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 構造用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>接着性能</th> <th>曲げ性能</th> <th>樹種名</th> <th>寸法（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 使用環境1 ・ 使用環境2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 造作用集成材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 化粧ばり造作用集成材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>心材の樹種名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ（mm）</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>寸法（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 化粧加工しない（・ 1等・ 2等・ 3等）</td> <td>・ する ・ しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 [6.5.2] 普通合板 [6.5.2] [6.13.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（床）</td> <td>5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ・ 1等 ※2等 針葉樹 ※C-D</td> <td>・ する ・ しない</td> <td>・ 難燃処理</td> </tr> <tr> <td>（壁、天井）</td> <td></td> <td>・ ラワン ・ しな</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td></td> <td>・ する ・ しない</td> <td>・ 難燃処理 ・ 防炎処理</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品 名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法（mm）				・ 1種 ※2種 ・ 3種	・ 使用環境A ・ 使用環境B ・ 使用環境C			施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法（mm）		・ 使用環境1 ・ 使用環境2				施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法（mm）			※1等 ・ 2等		施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	寸法（mm）					※1等 ・ 2等		施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）		※天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 化粧加工しない（・ 1等・ 2等・ 3等）	・ する ・ しない		施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理	（床）	5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ・ 1等 ※2等 針葉樹 ※C-D	・ する ・ しない	・ 難燃処理	（壁、天井）		・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理
	施工箇所	品 名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法（mm）																																																																				
				・ 1種 ※2種 ・ 3種	・ 使用環境A ・ 使用環境B ・ 使用環境C																																																																						
	施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法（mm）																																																																						
		・ 使用環境1 ・ 使用環境2																																																																									
	施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法（mm）																																																																							
		※1等 ・ 2等																																																																									
施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	寸法（mm）																																																																						
				※1等 ・ 2等																																																																							
施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）																																																																								
	※天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 化粧加工しない（・ 1等・ 2等・ 3等）	・ する ・ しない																																																																									
施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理																																																																					
（床）	5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ・ 1等 ※2等 針葉樹 ※C-D	・ する ・ しない	・ 難燃処理																																																																					
（壁、天井）		・ ラワン ・ しな	・ 1類 ・ 2類		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理																																																																					

7 防 腐、 防 蟻 処 理	⑧ 接着剤（内装改修工事全般）	構造用合板 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（床）</td> <td>12.0</td> <td></td> <td>・ 特類 ※1類</td> <td>・ 1級 ※2級</td> <td>※C-D ・</td> <td>・ する ・ しない</td> </tr> </tbody> </table> 天然木化粧合板 [6.13.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>化粧板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（壁、天井）</td> <td>・ 3.2 ※4.2 ・ 6.0</td> <td>・ なら ・ しおじ</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>・ する ・ しない</td> <td>難燃処理 ・ 防炎処理</td> </tr> </tbody> </table> 特殊加工化粧合板 [6.13.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>表面性能</th> <th>加工面</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（壁、天井）</td> <td>※4.0 ・</td> <td>・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装</td> <td>・ F ・ FW ・ W ・ SW</td> <td>・ 表面 ・ 両面</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>・ する ・ しない</td> <td>難燃処理 ・ 防炎処理</td> </tr> </tbody> </table> 7 防腐、防蟻処理 [6.5.5] 防腐処理 ※行う（※改修標仕6.5.2(h)(3)による ・ 図示） [6.5.5] 防蟻防虫処理 ・ 行う（※図示 ・ ） [6.5.5] 防腐、防蟻防虫処理剤の種類及び品質 [6.5.5] 表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。 [6.5.2] [6.5.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.5,6] [6.13.2] [6.14.2] [6.16.3] 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂（以下「ユリア樹脂等」という）又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。	施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	（床）	12.0		・ 特類 ※1類	・ 1級 ※2級	※C-D ・	・ する ・ しない	施工箇所	厚さ（mm）	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理	（壁、天井）	・ 3.2 ※4.2 ・ 6.0	・ なら ・ しおじ	・ 1類 ・ 2類	・ する ・ しない	難燃処理 ・ 防炎処理	施工箇所	厚さ（mm）	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理	（壁、天井）	※4.0 ・	・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ F ・ FW ・ W ・ SW	・ 表面 ・ 両面	・ 1類 ・ 2類	・ する ・ しない	難燃処理 ・ 防炎処理
	施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理																																					
	（床）	12.0		・ 特類 ※1類	・ 1級 ※2級	※C-D ・	・ する ・ しない																																					
	施工箇所	厚さ（mm）	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理																																						
	（壁、天井）	・ 3.2 ※4.2 ・ 6.0	・ なら ・ しおじ	・ 1類 ・ 2類	・ する ・ しない	難燃処理 ・ 防炎処理																																						
	施工箇所	厚さ（mm）	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理																																				
	（壁、天井）	※4.0 ・	・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ F ・ FW ・ W ・ SW	・ 表面 ・ 両面	・ 1類 ・ 2類	・ する ・ しない	難燃処理 ・ 防炎処理																																				
	9 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1] 屋外（・ 19形 ※25形） 屋内（※19形 ・ 25形） 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない [6.6.4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う ・ 行わない [6.6.4] 屋外の軒天井、ピロティ天井等 [6.6.3.4] 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示 耐風圧性を考慮した補強 ※図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 [6.6.4] ・ 行う（補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示）																																										
	10 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※改修標仕表6.7.1による ・ 図示 [6.7.3] [表6.7.1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [表6.7.1]																																										
	11 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 [6.8.2] 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 <sup>10</sup> ～1×10 <sup>12</sup> Ω程度 耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間はく離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスト性試験等の試験後、異常がないこと ビニル床シートG <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色 柄</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>特殊機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎発泡層のないもの</td> <td>※FS ・</td> <td></td> <td>※無地 ・ マーブル柄</td> <td>※2.5</td> <td>・ 帯電防止 ・ 耐動荷重</td> </tr> <tr> <td>・ 発泡層のあるもの</td> <td>・</td> <td></td> <td>※柄物 ・ 無地</td> <td>※2.3</td> <td>・ 帯電防止 ・ 耐動荷重</td> </tr> </tbody> </table> 工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け（施工箇所： ） [6.8.3]	種 類	記号	施工箇所	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	◎発泡層のないもの	※FS ・		※無地 ・ マーブル柄	※2.5	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	・ 発泡層のあるもの	・		※柄物 ・ 無地	※2.3	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重																								
種 類	記号	施工箇所	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能																																							
◎発泡層のないもの	※FS ・		※無地 ・ マーブル柄	※2.5	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重																																							
・ 発泡層のあるもの	・		※柄物 ・ 無地	※2.3	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重																																							

特記事項	変更事項	設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
		承認	御坂西保育所トイレ改修工事	特記仕様書 4	A3:NS	A-04

12 カーペット敷き

ビニル床タイル
種類 記号 施工箇所 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 特殊機能
・コンポジションビニル床タイル (半硬質) CT ※無地・柄物 300×300 ※2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重

ビニル幅木 [6.8.2]
材質 ※軟質 ・硬質
高さ (mm) ※60 ・75 ・100
厚さ (mm) ※1.5

ゴム床タイル [6.8.2]
色柄 ( )
厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法 ( )

織じゅうたん [6.9.2] [表6.9.1]
種別 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考
・A種 ・カットハイル ・ウルトンカーペット ※無地 ※人体帯電圧
・B種 ・ループハイル ・ダブルフェースカーペット ・柄物 3kV以下
・C種 ・カット、ループ併用 ・7キスミンスターカーペット (標準品) ・

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

タフテッドカーペット [6.9.3] [表6.9.2]
バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 ※人体帯電圧 備考
・カットバイル ※5~7 ※全面接着工法 ※人体帯電圧
・ループバイル ※4~6 ・グリッパー工法 3kV以下
・レベルループバイル ※4
・カット、ループ併用 ・

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

ニードルパンチカーペット [6.9.3]
厚さ (mm)
帯電性 ※人体帯電圧3kV以下
備考

タイルカーペット [6.9.3.4]
バイル形状 種類 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備考
※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ※人体帯電圧3kV
第二種 ・ ・ ・以下 (フリアクセス
707敷設範囲)

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き

見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示 ・) [6.9.3]

[6.10.2] [表6.10.1~8]
種別 施工箇所 仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ
・厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・防滑)
・樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・防滑)
・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2]
※規制対象外 ・第三種

14 フローリング張り

単層フローリング [6.11.2~7] [表6.11.1.3]
種類 樹種 厚さ (mm) 大きさ (mm) 緩衝材 工法
・フローリングボード 根太張用 ※なら ※15 幅 ※75 長さ 400以上 ※合成樹脂 発泡シート ・釘留め工法
・フローリングブロック 直張用 ※なら ※15 ※303×303 ※合成樹脂 発泡シート ・モルタル埋込み工法
・モザイクパーケット 直張用 ・なら ・8 ・ ※合成樹脂 発泡シート 接着工法

単層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

天然木化粧複合フローリング [6.11.2.3.5.6] [表6.11.2.4]
種類 樹種 種別又は大きさ (mm) 防湿処理又は緩衝材 工法
・複合1種 根太張用 ※なら ・A種 15以上 ・防湿処理を行う ・釘留め工法
・複合2種 ・ ・ ・B種 12以上
・複合3種 直張用 ※C種 12以上 ※合成樹脂発泡シート ・接着工法

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

仕上げ塗装 ・塗装品 ( ) [6.11.6.7]
・無塗装品 (塗装する 施工箇所: )
種類 ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインのうえワックス塗り
・生地そのままワックス塗り

15 畳敷き

[6.12.2] [表6.12.1]
下地の種類 畳の種類
・改修標仕 表6.5.9による床組 ※B種
・ポリスチレンフォーム床下地 ※C種
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

16 ポリスチレンフォーム床下地材

・A種 (ノンフロンのもの) [6.12.2]
畳下地 厚さ (mm) ※40 ・65 ・80 (不燃)
フローリング類下地 厚さ (mm) ※80 ・95 (不燃)

17 セッコウボード及びその他ボード張り

種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等
・セッコウボード GB-R ・9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃)
・シーリングセッコウボード GB-S ・9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃)
・強化セッコウボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・セッコウラスボード GB-L 9.5
・化粧セッコウボード (模様) GB-D 9.5
・不燃積層セッコウボード GB-NC 9.5 (不燃) ・化粧なし (下地張り用)
・化粧あり (トラバーチン模様)
・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石棉)
1.0FK ・6 ・8
・ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ (※9 (不燃) ・12 ・)
※凹凸タイプ (※12 (不燃) ・15 ・19)
・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・25
・グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ・25 (ガラスクロス包)
・硬質木毛セメント板 [6.16.4] HW ・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板 [6.16.4] NW ・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板 [6.16.4] HF ・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板 [6.16.4] NF ・30
・単板張りパーティクルボード [6.16.4] ・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS)
・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード [6.16.4] ・単板オーバーレイ (DV)
・プラスチックオーバーレイ (DO) ・塗装 (DC)
・10 (難燃) ・12 (難燃)
・ミディアムデンシティファイバーボード [6.16.4] ・素地MFD (RS)
・化粧MFD (・DV・DO・DC)

13 合成樹脂塗床

18 壁紙張り

・ハードボード (素地) [6.14.2] HB ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)
・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ハードボード (化粧) [6.14.2] HB ・内装用化粧 (DI) ・外装用化粧 (DE)
・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード [6.14.2] IB A級二次加工品
(天井仕上 ・内装仕上 )
・9 ・12 ・15 ・18
・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による 厚さ1.2

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]
※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [6.13.2]
※適用する ・適用しない
合板類の張付け ・A種 ※B種 [6.13.3] [表6.13.3]

[6.14.2]
壁紙の種類
施工箇所 紙 繊維 (織物) フラック (ビニル) その他 (化学繊維) 無機質 防火性能 備考
図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.14.2]
下地調整 [6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.5] [表7.2.7]
モルタル面、プaster面 ・RA種 ※RB種 (施工箇所: )
コンクリート面 ・RA種 ※RB種 (施工箇所: )
せっこうボード面 ・RA種 ・RB種 (施工箇所: 図示 )

19 モルタル塗り

防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) [6.15.3]
防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。
(JIS A 1404による試験)

混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比
セメント重量 JIS R 5201の試験8において 70%以上 95%以下 80%以下
始発 1時間以上 (294.0kPa
終結 10時間以内 の水圧を
1時間か
ける)

安定性、膨張性のひび割れ及びそりがなくこと。(JIS R 5201の試験9)
吸水調整材は、4章2節 表4.2.2[吸水調整剤の品質]による。 [6.15.3]
既製目地材 ・適用しない ※適用する [6.15.3]
床目地 ・設ける (工法 ※押し目地 ・) [6.15.6]

20 タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]
施工箇所 形状寸法 (mm) うわぐすり 施すう 無ゆう I II III 吸水率 耐凍害性 役物 色 再生材の 備考
標準的な曲がり (小口、標準、二丁、びょうぶ) の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う

コンクリート素地面の目荒し工法 (高圧水洗) ・行う [6.16.3]
内装壁タイル張りの工法 ※壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り [6.16.4] [表6.16.5]

21 セルフレリング材塗り

[6.17.2] [表6.17.1]
・セッコウ系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・)
・セメント系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・)

⑥ 内装 改修 工事	22 浴室天井材	市販品	材質	表面仕上げ	性能	幅 (mm)	備考
	23 フリーアクセスフロア	※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・アルマイト処理品	準不燃品	※200	回り縁はとい付きとし、製造所の標準品とする。
			・硬質塩ビ製			※塗装品	※300
	(20.2.2)						
	施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上材	備考
		・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。 表面仕上材の品質、性能は、標仕19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示 配線用取出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30% 配線取出し開口 ※パネル1枚につき40×80 (mm) 程度の開口1箇所以上 ・図示 空調用吹出し (吸込み) パネル ※なし ・あり (※固定式 ・可変式) : 施工箇所 (※図示 ・ ) コンセント等の取付け対応 ※製造所の仕様による (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数 ※図示 ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない						
	(20.2.3)						
	24 可動間仕切	構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
		・スタッド式 (・内臓 ・露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式		※鋼板 (※0.6 ・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり ( ) ・なし	・あり ・なし
25 移動間仕切	(20.2.4)						
	遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法		
	・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式		
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り				
表面仕上げの壁紙張りの品質は18壁紙張りによる。 遮音性能はJIS A 6512の遮音性試験に準拠する。							
⑥ トイレ ブース	(20.2.4)						
	表面材の材質	形状	脚部 材質	ドアエッジ 材質			
	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木 ・支柱 ・なし	○アルミニウム製 ・ステンレス製	○標準	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材		
27 階段滑り止め	(20.2.6)						
	材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド			
	・ステンレス製 (SUS304) ビニルタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	※あり (※ビニル製 ・ステンレス製) ・なし			
28 階段手すり	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所			
	※集成材	※クリヤラッカー	・60 ・45				
	・ステンレスパイプ	・HL					
	・鋼製パイプ ・ビニル製	・EP-G					

29 黒板及び ホワイトボード	(20.2.8)					
	種類	寸法 (mm)	色彩	備考		
	・黒板	※焼付け		※緑・黒 ※緑・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	
	・ホワイトボード	※ほうろう		※白		
	(20.2.10)					
	区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付け高さ	書体
	・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	※ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
	・室名札 ・ピクトグラフ ・扉番号 ・階数表示	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
	・建物案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
	案内用図記号はJIS Z 8210による。					
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。						
30 表示	(20.2.10)					
	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	施工箇所	
	※横形	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・		
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロスラット	・80 ・100			
31 ブラインド	(2.3.1) [5.1.6]					
	・既存再使用する (養生方法 : )					
	・新設する (20.2.12)					
32 ロールスクリーン	(20.2.13)					
	材種	操作方式	遮光性能 寸法 (mm)	施工箇所	備考	
	※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	防火性能 ※あり	
33 カーテン	(2.3.1) [5.1.6]					
	・既存再使用する (養生方法 : )					
	・新設する (20.2.14)					
34 カーテンレール	形式	開閉操作	ひだの種類	施工箇所	備考	
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・ブレンひだ・片ひだ		
					(暗幕)	
35 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	(5.1.6)					
	・既存再使用する					
	・新設する (20.2.14)					
36 天井点検口	材種	寸法	形式	外枠	内枠	
	※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・	・屋内外用 ・屋内用 ・	・額縁タイプ ・額縁タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ	
37 床点検口	材種	寸法	形式			
	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鑄鉄製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	・張物用 ・充填用 ・張物、充填兼用	

38 防煙垂れ壁	・固定式				
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	
	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き	
	・可動式				
	種類	材質	高さ (mm)	備考	
	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型) ・可動式 (天井収納型)	
	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り	
	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型)				
	(19.2.2)				
	39 視覚障害者用床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内		※塩化ビニル製 ・レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル	※300×300 ※300×300 ※300×300	※7.0	
屋外		※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル	300×300 300×300	※30	
ブロックパターンはJIS T 9251による。					
40 くつふきマット	材種				
	受枠		備考		
	・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・				
41 流し台ユニット	・既存再使用する				
	種類	寸法 (L = mm)	適用内容	規格・品質等	
	・流し台 ・コンロ台 ・吊戸棚 ・水切棚	※1200 ・1500 ・1800 ※600 ・700 ※1200 ・900 ・600 ※1200 ・900	トラップ付き バックガード ※あり ※1段式	※優良住宅部品 (セクショナルキ ッチンI型) ※市販品	
42 洗面カウンター	・既存再使用する				
	材種	・メラミン樹脂化粧板張り (心材 : 集成材) ・人工大理石			
	奥行き (mm)	・約450 ・約600			
43 収納家具	[6.5.2][6.13.2]				
	材質	※図示			
	形状・寸法	合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種			
44 鋼製書架及び物品棚	種類	規格等	耐荷重による種類		
	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種		
45 屋内掲示板	枠の材質	※アルミニウム製			
	表面の材質	※塩ビ発泡シート張り			
⑦ 塗装 改修 工事	① 材料	建物内部に使用する場合のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3] ※F☆☆☆☆			
		建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所 : )			
	② 下地調整	既存塗膜の除去範囲 (塗替えてRB種の場合) [7.2.1] [表7.2.1~7] ※塗替え面積の30% ・図示			
		下地調整の種類等 [7.2.2~7] [表7.2.1~7]			
	下地面の種類		下地調整の種類		ひび割れ部の補修
			塗替え	新規	
	木部	※RB種	・RA種 ・RB種		
	鉄鋼面	※RB種	RA種		
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具を除く)	※RB種	RA種		
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※RB種	RC種		
モルタル面、プaster面	※RB種	・RA種 ・RB種		・行う	

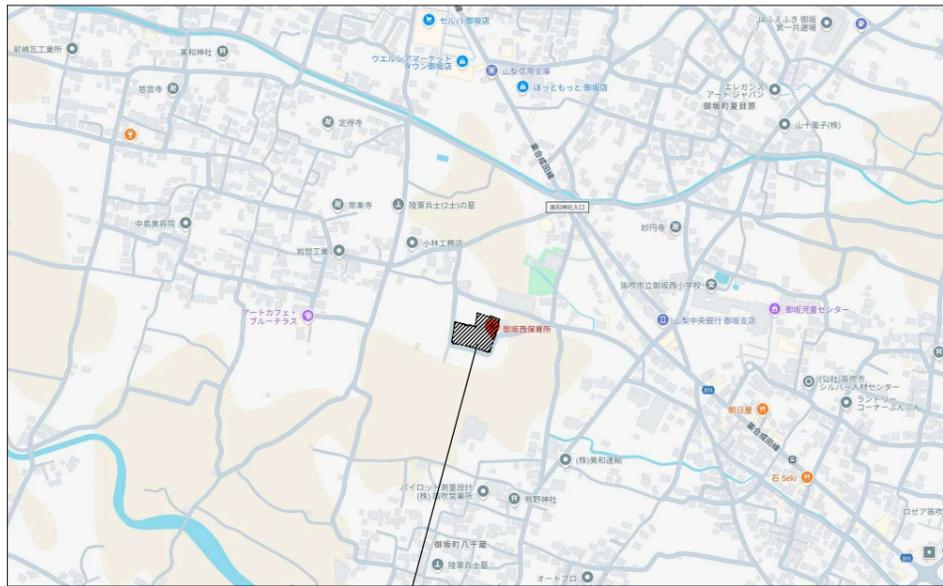
特 記 事 項	変更事項	設計年月: 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
		承認	御坂西保育所トイレ改修工事	特記仕様書6	A3: NS	A-06
		担当				

7	塗装 改修 工事	コンクリート面、ALCパネル面 (2-UE、2-AE、2-FUEは除く)	※RB種	・RA種	・RB種	・行う	
		コンクリート面、押出成形セメント板面 (2-UE、2-AE、2-FUEの場合)		・RA種	・RB種	・行う	
		せっこうボード面、その他ボード面		・RA種	・RB種		
3 錆止め塗料塗り							
錆止め塗料塗りの種別等 [7.3.2.3] [表7.3.1~4]							
塗装面							
鉄鋼面	屋外	※A種	・B種	※C種			
	屋内	・A種	※B種	※C種			
亜鉛めっき鋼面	塗替え	※A種		・B種	※C種	EP-Gの場合	
		C種		※C種		EP-Gの場合	
	新規(鋼製建具を除く)	※A種		・B種	・A種	・B種	
		C種		・A種	・B種		
新規鋼製建具	※A種		・B種	A種	EP-Gの場合 2-FUEは除く		
[7.4.1~7.15.2] [表7.4.1~7.15.1]							
4 塗装							
塗装の種類							
工程							
塗替え							
新規							
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部	※B種	※A種				
	鉄鋼面	※B種	・A種	・B種			
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種				
	(鋼製建具を除く)						
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種				
・クリヤラッカー塗り(CL)	木部	・A種	※B種	・A種	※B種		
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内木部	※B種	・A種	・B種			
	屋内鉄鋼面	※B種	・A種	・B種			
	屋内亜鉛めっき鋼面	※B種	・A種	・B種			
・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り(NAD)	屋内コンクリート面	※B種	・A種	※B種	・A種		
	屋内モルタル面	※B種	・A種	※B種	・A種		
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄面	※B種	・A種	・A種			
	屋外亜鉛めっき鋼面	(上塗材の	・A種				
	コンクリート面	等級:3種)	・				
	押出成形セメント板面		・				
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内木部	※B種	※A種				
	屋内鉄鋼面	※B種	・A種	・B種			
	屋内亜鉛めっき鋼面	※B種	・A種	・B種			
	コンクリート面	※B種	・A種	・B種			
	モルタル面・プaster面	※B種	・A種	・B種			
	せっこうボード面	※B種	・A種	・B種			
	その他ボード面						
・合成樹脂エマルジョン塗り(EP)	屋内のコンクリート面・モルタル面	※B種	・A種	・B種			
	せっこうプaster面	A種	・A種	・B種			
	・せっこうボード面等						

9 環境 配慮 改修 工事	1 アスベスト含有建材の処理工事	分析によるアスベスト含有の調査 [9.1.1] ・行う(採取箇所 ※図示) 調査方法 材料名 調査方法(1材料当たりの試料数) ※定性分析(※3) 定量分析(・3) ※定性分析(※3) 定量分析(・3) ※定性分析(※3) 定量分析(・3) 分析方法 ※JIS A 1481(建材製品中のアスベスト含有率測定方法)による 分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式 ・(社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」 アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・行う(測定箇所 ・図示) 測定時期、場所及び測定点数				
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室ごと)	備考
	・	測定1		処理作業室内 施工区画周辺 又は敷地境界	各(2)点 計4点	
	・	測定2		処理作業室内 セキュリティゾーン 入口	各(2)点 各1点	空気の流れを確認 除じん装置の性能確認
	・	測定3		処理作業室内 負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各(2)点 各1点	
	・	測定4		施工区画周辺 又は敷地境界	4方向各1点	
	・	測定5		処理作業室内 施工区画周辺 又は敷地境界	各(2)点 4方向各1点	
	・	測定6		処理作業室内 施工区画周辺 又は敷地境界	各(2)点 4方向各1点	
	・	測定7		処理作業室内 施工区画周辺 又は敷地境界	各(2)点 4方向各1点	
	・	測定8		処理作業室内 施工区画周辺 又は敷地境界	各(2)点 4方向各1点	
			(1) 施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置場等を含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1m以内の範囲をいう。 (2) 処理作業室の面積が50m2以下の場合は2点、300m2までは3点とする。300m2を超えるような場合は、監督職員と協議する。 測定方法 JIS K 3850-1(空气中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法)による。 種類 ※位相差顕微鏡法 試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合(10本/L以上)に行う位相差・分散顕微鏡法用に保存しておく。 ・位相差・分散顕微鏡法 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。			
		測定3(作業環境)	測定1,4,5,7(室内環境)	測定2,6,8(大気環境)		
	メンブレンフィルターの直径(mm)	25	25	47		
	試料の吸引流量(L/分)	1	5	10		
	試料の吸引時間(分)	5	120	240		
	計数視野数	50	50	50		
	定量限界(本/L)	50	0.5	0.3		
	測定記録項目 (1) 除去するアスベスト含有建材の種類 (2) 測定点の位置の図面 (3) 測定日時、天候、気流 (4) 試料採取条件 (5) 標本作製方法 (6) 使用顕微鏡の種類(開口数を含む) (7) 計数条件(HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む) (8) 繊維数濃度(位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスベスト繊維数濃度) (9) 定量限界 (10) その他					

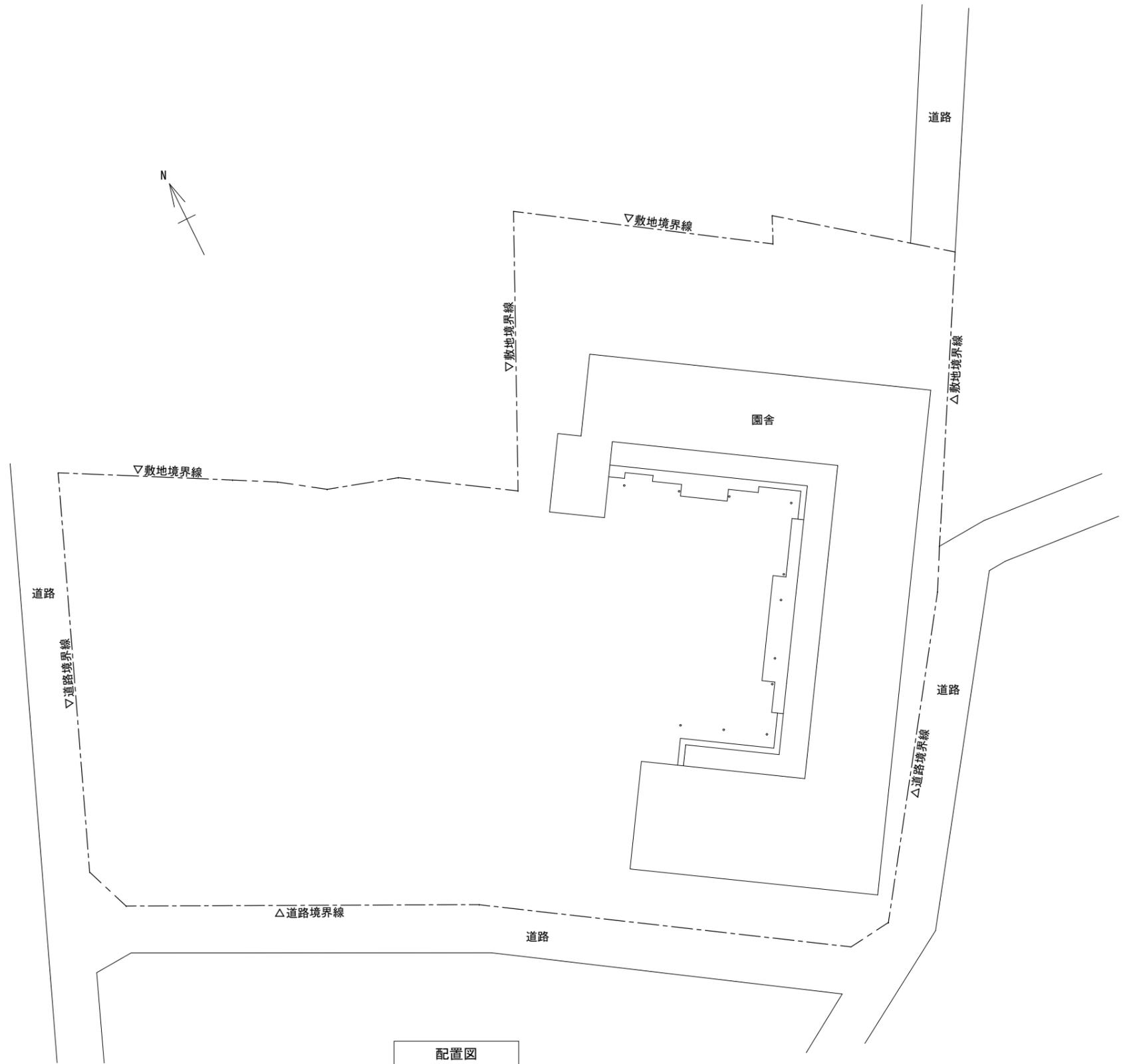
2 外断熱改修工事	アスベスト含有吹付け材の除去(レベル1) ・行う [9.1.3] 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準9.1.3(2)(7)(a)~(b)による 除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理(二重袋梱包) ・セメント固化 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う ・行わない
	アスベスト含有保温材等の除去(レベル2) ・行う [9.1.4] 除去対象範囲 ※図示
	アスベスト含有成形板の除去(レベル3) ・行う [9.1.5]
	断熱材の種類 [9.3.2]
	種類 発泡剤の種類 ホルムアルデヒド放散による区分(厚さ(mm))
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・A種G F☆☆☆☆等級 ・
	・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・A種G F☆☆☆☆等級 ・
	・硬質ウレタンフォーム保温材 ・A種G F☆☆☆☆等級 ・
	・フェノールフォーム保温材 ・A種G F☆☆☆☆等級 ・
	・ロックウール ・ F☆☆☆☆等級 ・
・グラスウール ・ F☆☆☆☆等級 ・	
外装材の種類 [9.3.2]	
種類 防火性能	
既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし [9.3.3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 [9.3.3.4] 通気層 ・あり(mm) ・なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 [9.3.4] 特記なき事項は、製造所の仕様による。	
複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2 [9.4.2]	
断熱・防露改修工事	
断熱材の種類 [9.5.2.3]	
種類 発泡剤の種類等 厚さ(mm) 施工箇所	
打込み工法	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・A種G	
・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・保温板2種b A種G ※25 ※一般部	
・保温板3種b (スキン層付き) ※25 ・接合部分	
・硬質ウレタンフォーム保温材	
現場発泡工法	
・吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種1G ※A種1H 難燃性を有するもの ※15 ※断熱材補修部分 ・一般部	
5 屋上緑化改修工事G	
植栽基盤及び材料 [9.6.1.2] ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示	
工法 [9.6.3] かん水装置 ・設置する(工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 ・行う	
6 透水性アスファルト舗装改修工事	
路床の構成及び厚さ [9.7.3] ・遮断層 厚さ(mm) ※150 ・凍上抑制層 厚さ(mm) ※150 ・フィルター層 厚さ(mm) 車道部 ※150 歩道部 ※50	

特記事項	変更事項	設計年月: 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
		承認	御坂西保育所トイレ改修工事	特記仕様書7	A3:NS	A-07



工事場所：笛吹市御坂町夏目原870

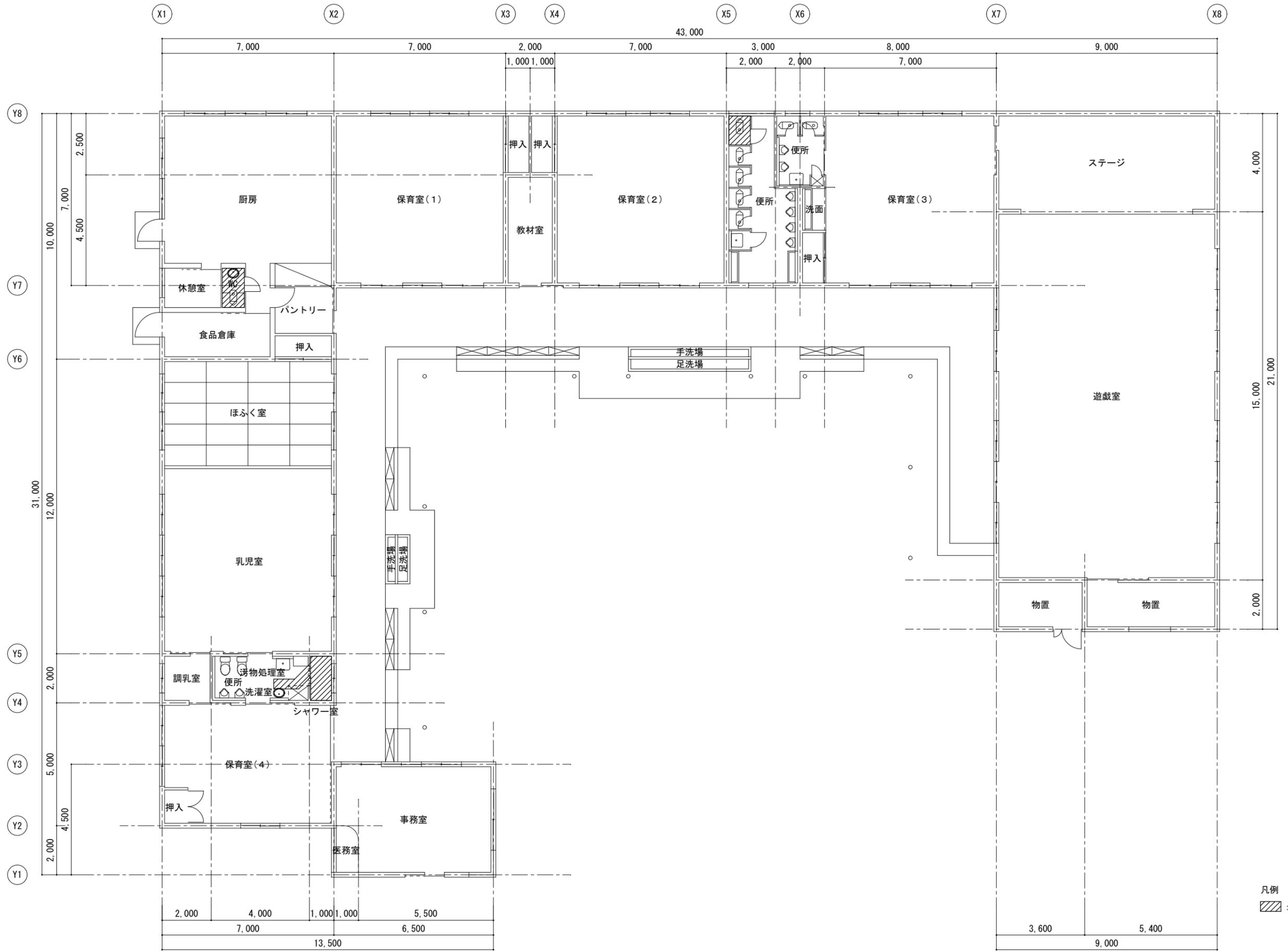
案内図



配置図

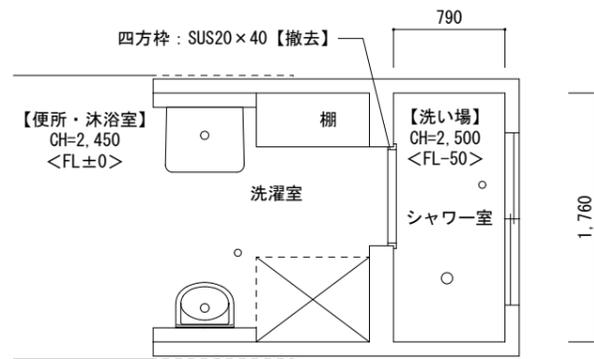
特記事項	変更事項	

設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
承認	御坂西保育所トイレ改修工事	案内図・配置図	1/400	A-08
担当				
作図				



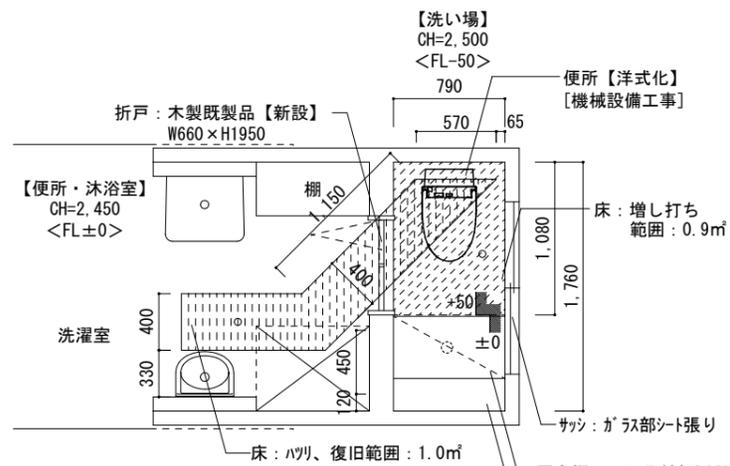
凡例  
 : 工事範囲を示す

特記事項	変更事項		設計年月: 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認	担当	作図	御坂西保育所トイレ改修工事	平面図



【仕上・改修内容】  
 床：珪藻金ゴテ押え、塗装【存置】  
 巾木：床材立上げ【存置】H350  
 壁：吹付タイル【存置】  
 天井：ボート張り【存置】

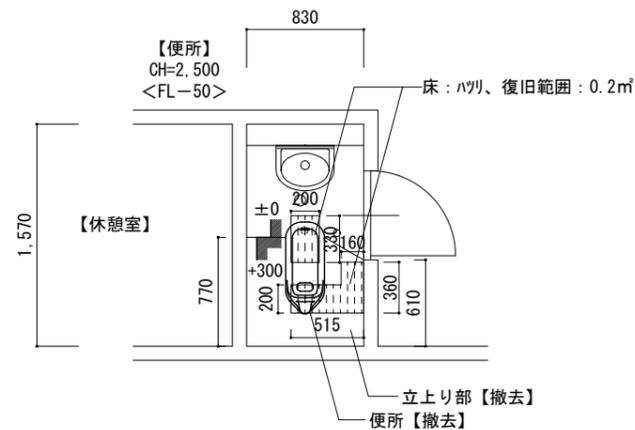
改修前



【仕上・改修内容】  
 床：珪藻金ゴテ押え、  
 珪藻樹脂系塗床【塗装】  
 増し打ち部/珪藻金ゴテ押え、塗装  
 巾木：床材立上げ【塗装】H350  
 壁：吹付タイル【存置】  
 天井：ボート張り【存置】  
 ライニング：CB下地、珪藻金ゴテ押えの上、  
 EP塗装

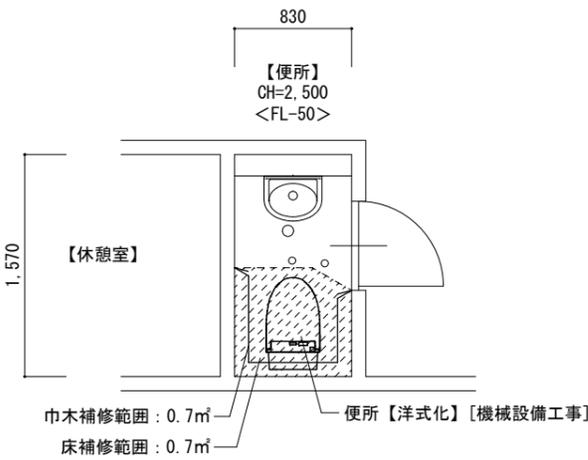
改修後

乳児室便所



【仕上・改修内容】  
 床：珪藻金ゴテ押え、塗装【立上り部撤去】  
 巾木：床材立上げ【存置】H430  
 壁：EP塗装【存置】  
 天井：ボート張り【存置】

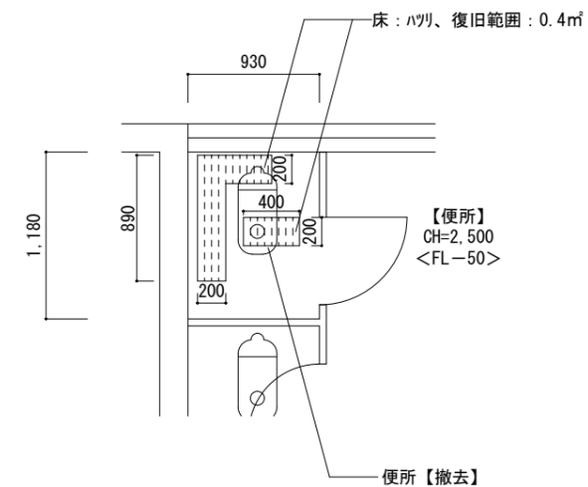
改修前



【仕上・改修内容】  
 床：珪藻金ゴテ押え、珪藻樹脂系塗床  
 【撤去部補修の上、全面塗装】  
 巾木：床材立上げ【撤去部補修の上、全面塗装】H430  
 壁：EP塗装【存置】  
 天井：ボート張り【存置】

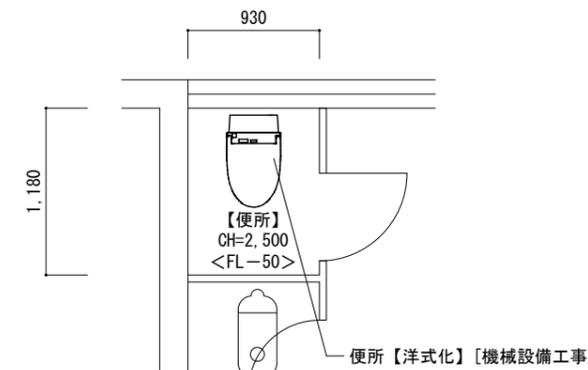
改修後

厨房便所



【仕上・改修内容】  
 床：磁器質タイル50角【存置】  
 巾木：磁器質タイル100角【存置】  
 壁：磁器質タイル100角【存置】  
 天井：ボート張り【存置】

改修前



【仕上・改修内容】  
 床：磁器質タイル50角【存置】  
 巾木：磁器質タイル100角【存置】  
 壁：磁器質タイル100角【存置】  
 天井：ボート張り【存置】

改修後

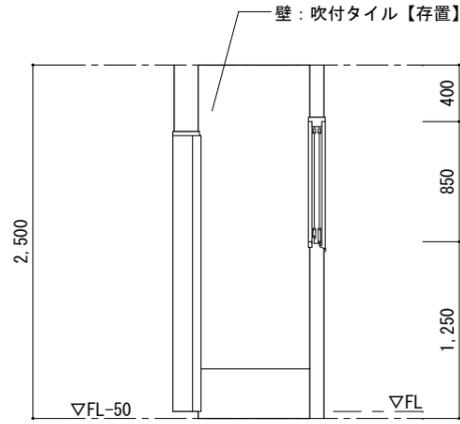
便所

特記事項	変更事項

設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
承認	担当	作図	御坂西保育所トイレ改修工事	平面詳細図
			1/50	A-10

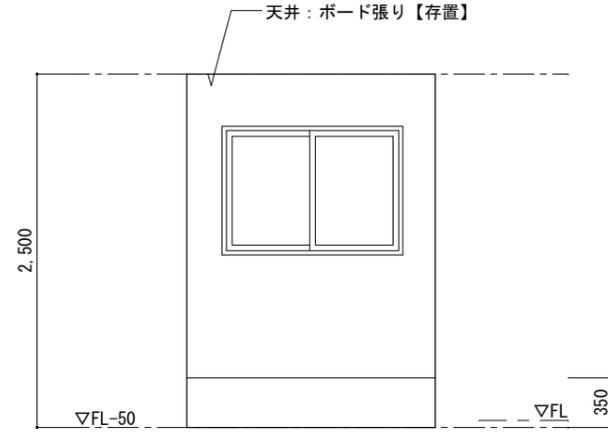
【乳児室便所】

床	モルタル金ゴテ押え、塗装【存置】
巾木	床材立上げH350【存置】
壁	吹付タイル【存置】
天井	ボード張り【存置】
廻縁	
備考	手摺【機械設備工事】 紙巻器【機械設備工事】 衛生機器【機械設備工事】



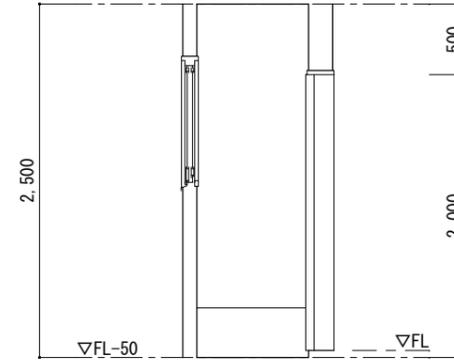
790

A面



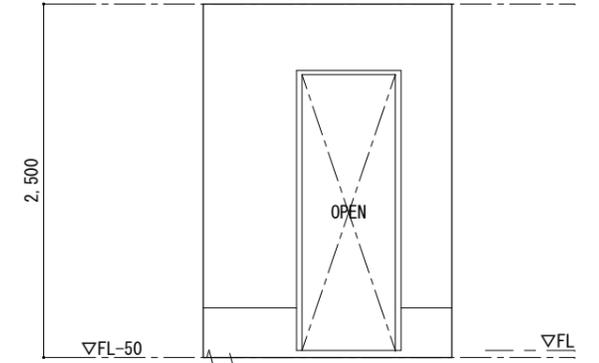
1,760

B面



790

C面

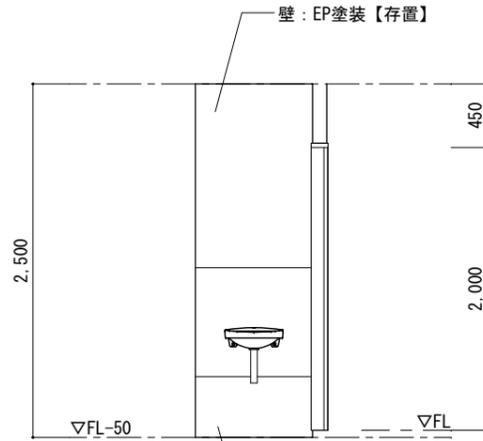


1,760

D面

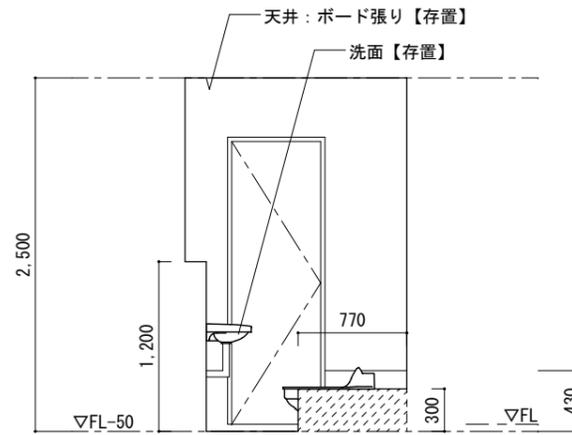
【厨房便所】

床	モルタル金ゴテ押え、塗装【立上り部撤去】
巾木	床材立上げH430【存置】
壁	EP塗装【存置】
天井	ボード張り【存置】
廻縁	
備考	手摺【機械設備工事】 紙巻器【機械設備工事】 衛生機器【機械設備工事】



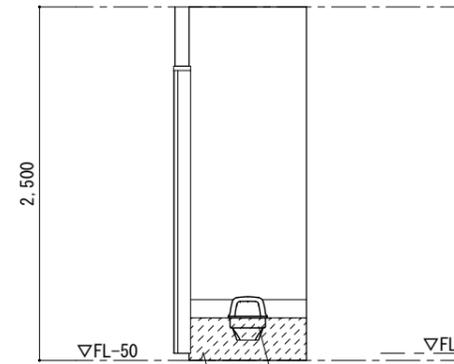
830

A面



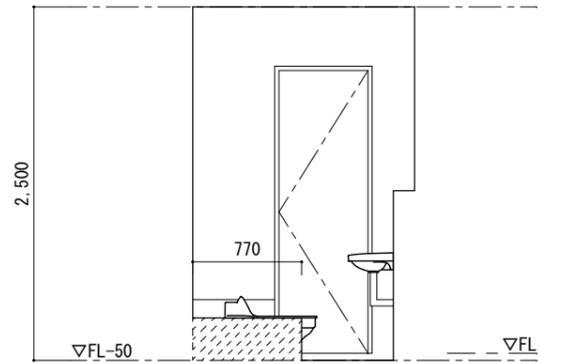
1,570

B面



830

C面



1,570

D面

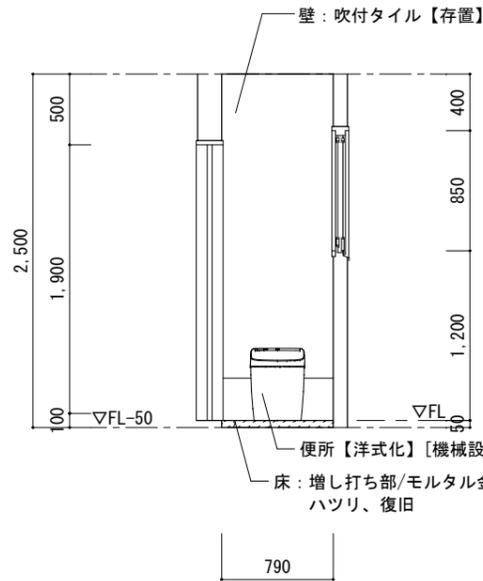
凡例： 立上り撤去範囲

特記事項	変更事項

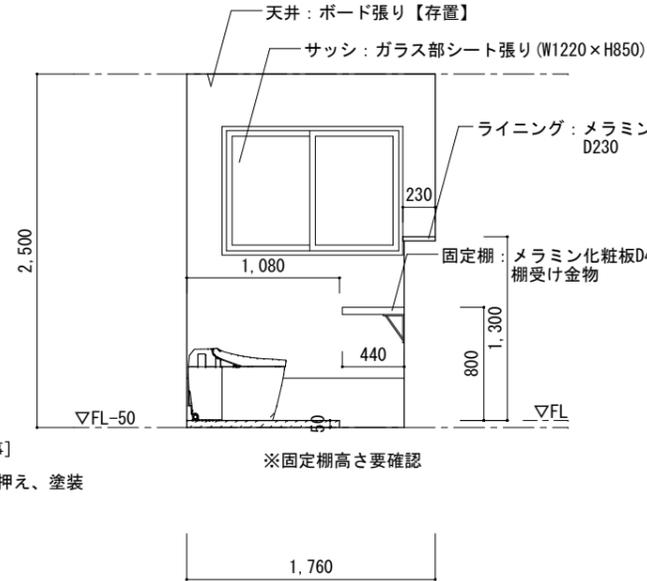
設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
承認 担当 作図	御坂西保育所トイレ改修工事	改修前展開図	1/50	A-11

【乳児室便所】

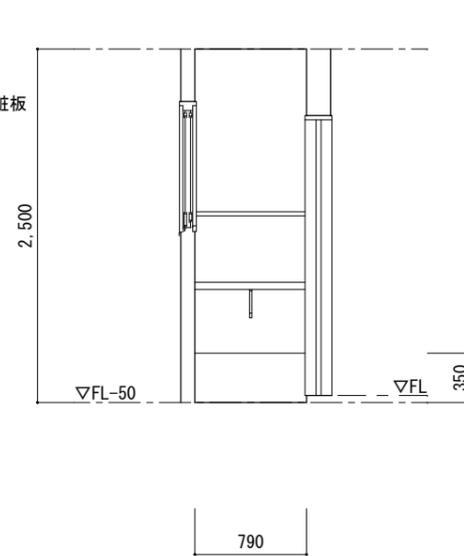
床	モルタル金ゴテ押え、 エポキシ樹脂系塗床【塗装】 増し打ち部：モルタル金ゴテ押え、塗装【塗装】 ハツリ、復旧
巾木	床材上げH350【塗装】
壁	吹付タイル【存置】
天井	ボード張り【存置】
廻縁	
備考	木製折戸W660×H1950(既製品)【新設】 手摺【機械設備工事】 紙巻器【機械設備工事】 衛生機器【機械設備工事】 ライニング：CB下地、モルタル金ゴテ押えの上、 EP塗装



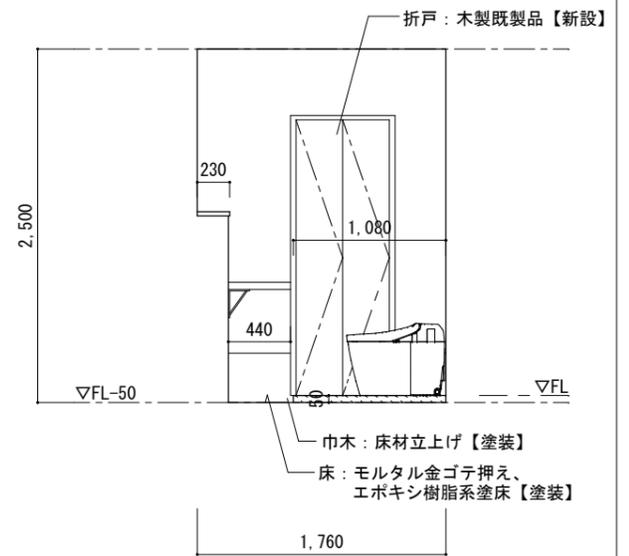
A面



B面



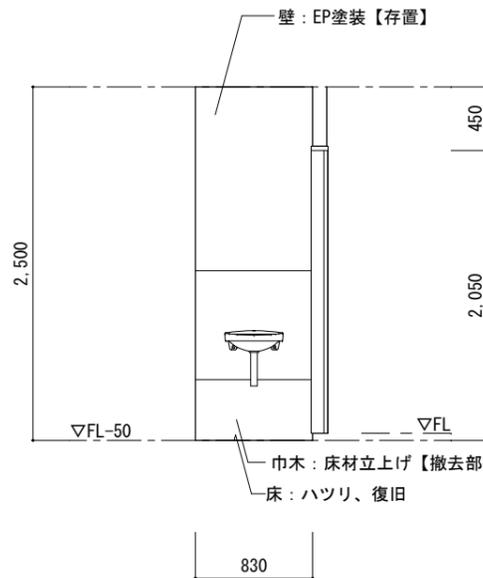
C面



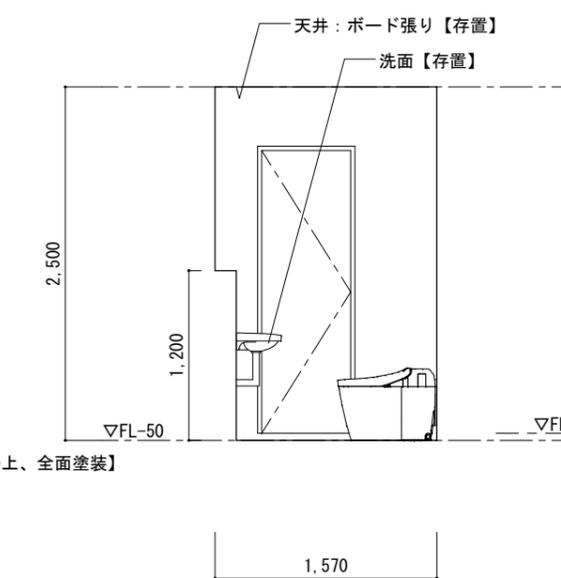
D面

【厨房便所】

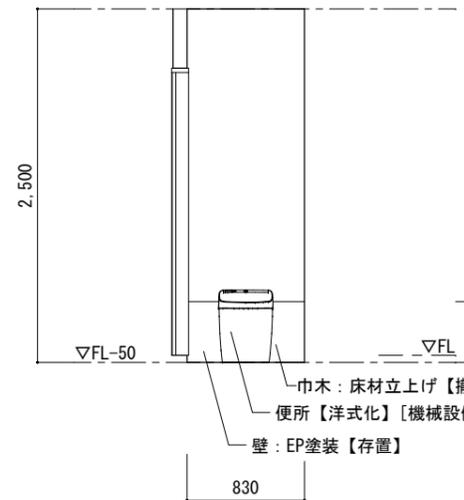
床	モルタル金ゴテ押え、 エポキシ樹脂系塗床 【撤去部補修の上、全面塗装】
巾木	床材上げH430【撤去部補修の上、全面塗装】
壁	EP塗装【存置】
天井	ボード張り【存置】
廻縁	
備考	手摺【機械設備工事】 紙巻器【機械設備工事】 衛生機器【機械設備工事】



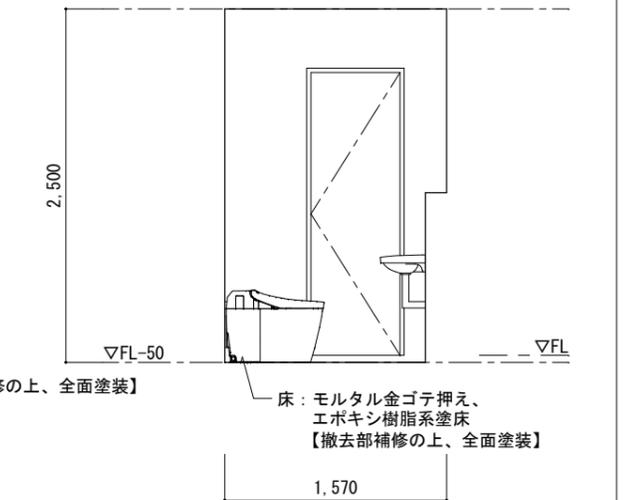
A面



B面

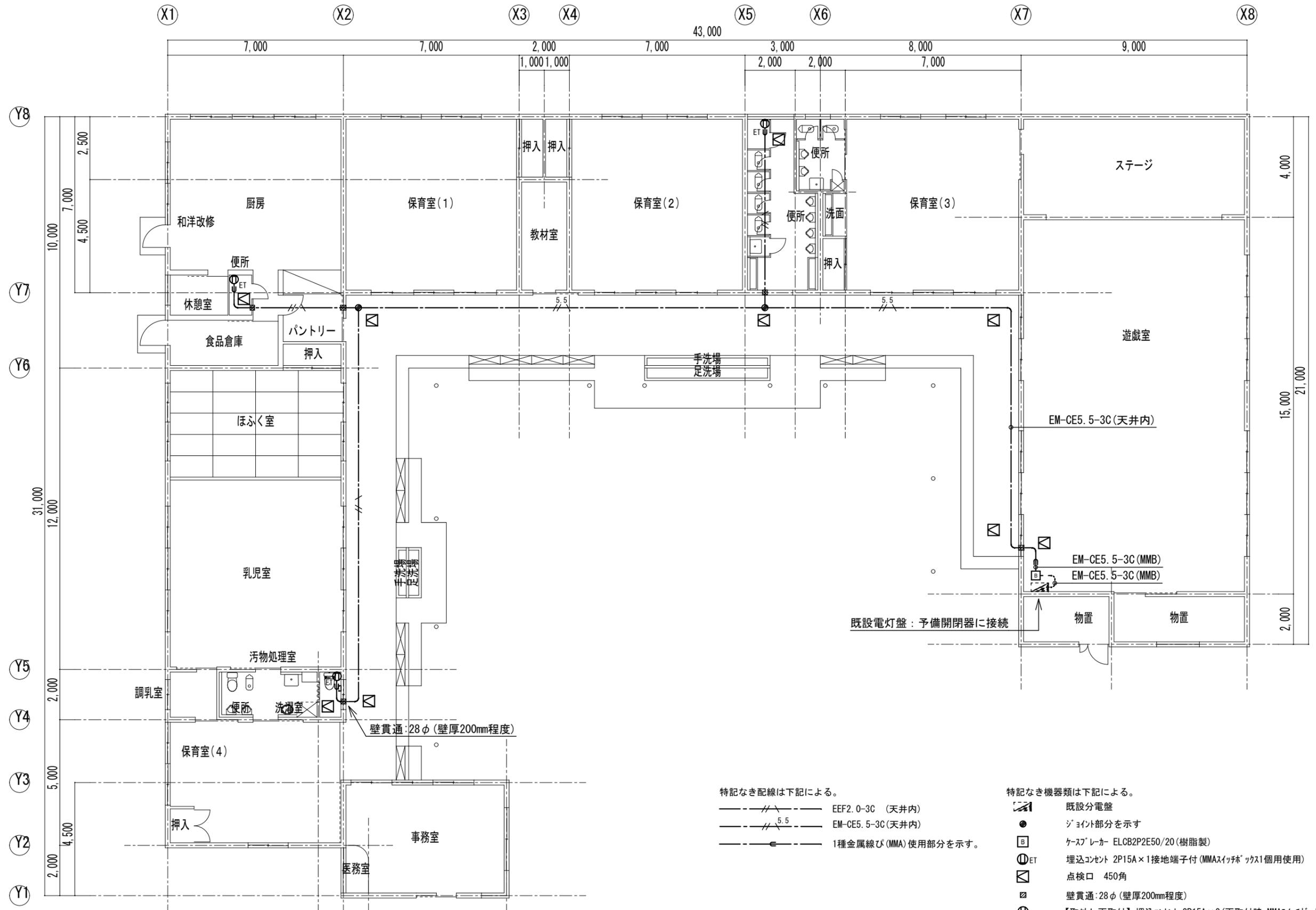


C面



D面

特 記 事 項	変 更 事 項		設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号		
			承認	担当	作図	御坂西保育所トイレ改修工事	改修後展開図	1/50	A-12



特記なき配線は下記による。

- //--- EEF2.0-3C (天井内)
- //5.5--- EM-CE5.5-3C(天井内)
- <--- 1種金属線び(MMA)使用部分を示す。

特記なき機器類は下記による。

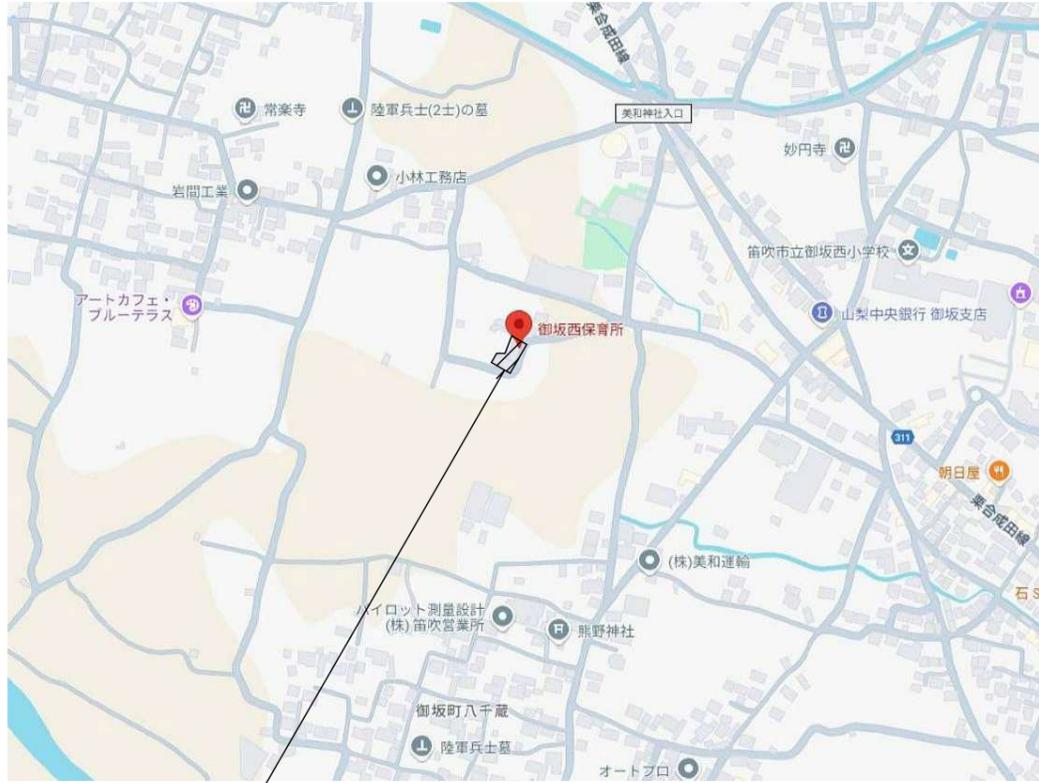
- 既設分電盤
- ジョイント部分を示す
- ケースブレーカー ELCB2P2E50/20(樹脂製)
- Ⓧ ET 埋込コンセント 2P15A×1接地端子付(MMAスイッチボックス1個用使用)
- 点検口 450角
- 壁貫通:28φ(壁厚200mm程度)
- Ⓧ 【取外し再取付】埋込コンセント 2P15A×2(再取付時 MMAスイッチボックス1個用使用)

※点検口については必要に応じ設置すること。

特記事項	変更事項	設計年月: 2025.08	工事名称			図面名称	縮尺	図面番号
			御坂西保育所トイレ改修工事					
		承認	担当	作図	電気設備平面図			

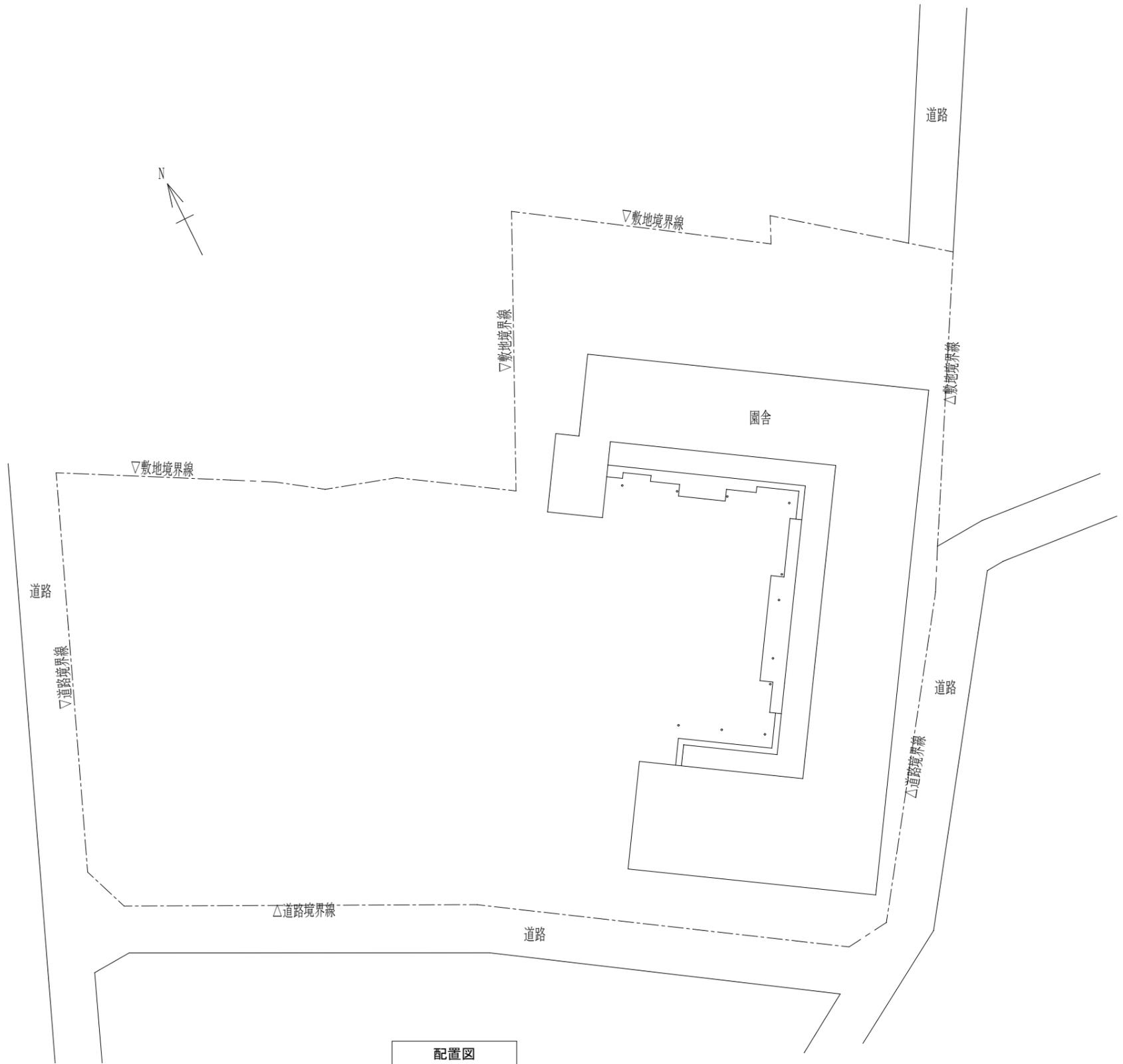
特記仕様書

A	建築概要	1 工事名称 御坂西保育所トイレ改修工事	I	保温塗装	施工場所					
		2 工事場所 山梨県笛吹市御坂町夏目原870			配管	屋内露出	隠ぺい部	埋設部	屋外露出	備考
B	工事項目	3 建築面積 延べ床面積 意匠図参照 建築面積 意匠図参照	J	工事区分	給水管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ	e2・(ハ)・Ⅶ	V B	
		4 建物構造 鉄筋コンクリート造・平屋建て			給湯管	a・(ロ)・Ⅰ	c2・(ロ)・Ⅰ	e2・(ロ)・Ⅰ	V P	
C	優先順位	1 法令、政令、規則等の定め、及び指導 2 現場説明事項 質疑事項 3 特記仕様書 4 設計図 5 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』	K	図面凡例	排水管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ	塗装	V P・V B	
D	使用機材	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は契約後、監督員の指示に従いリストを作成し、材承諾を受けたものを使用する。			項目	建築	電気	機械	別途	備考
E	工事範囲	本設計図は工事の概要を示すものであり、施工者は十分なる理解のうえ、施工図・製作図を提出し、監督員の承諾を得るものとする。請負者は特記仕様書、設計図書等に示す範囲において明記なき部分といえども技術上、施工上、本工事完成に必要と認められるものは監督員の指示に従って施工する。設計図書及び施工上で疑義ある場合、監督員と協議のうえ、その指示に従う。なお軽微な変更は請負者の責任において行うこと。	L	メーカーリスト (参考)	・水道加入金					
F	提出書類	1 工程表等関係書類一式 4 施工計画書・施工図 7 官公署などの許認可書類 2 メーカーリスト 5 施工写真・完成写真 8 完成機器の取扱説明書 3 製作図及び各種機器承認図 6 完成図書一式 9 非常時連絡先 10 その他監督員の指示による			名称	記号	仕様・規格	摘要		
G	一般事項	1 本工事施工に関しては、本特記仕様書 設計図書 関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』に準拠するもののほか、監督員の指示に従うものとする。 2 本工事に関する法令、条例及び規則等は、良くこれを厳守し、必要な書類、検査立会い、申請届等は、遅滞なく代行し工事の進捗に支障のないようにする。申請等に要する費用は、全て請負者の負担とする。 3 各種の施工は事前に施工図、製作図、承認図等を提出し監督員の承認を得ること。 4 本工事の着工から竣工まで、監督員の指定する箇所のカラー写真を撮り、サービス版1部を提出する。 5 本工事に於て満水試験、水圧試験、気密試験、通水試験等の各試験は、監督員立会いのもとに行うものとし、試験結果成績表等を提出すること。 6 本工事施工者は、定められた工期内で工事を完了し、完全な状態で引渡し出来るよう、完成と同時に完成図書、必要書類を添えて提出し、完成検査を受けなければならない。 7 本工事請負者は、工事完成引渡し後も施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては、責任をもって修復しなければならない。	給水管	耐衝撃用塩化ビニール管	JIS-K-6742(HIVP)	屋外埋設部分				
H	特記事項	1 管材は凡例参照 2 給水管(VB、VD)は管端防食継手を使用する。 3 給水管のパレルニップル及びロングニップルは、塩化ビニール鋼管(VB)を使用する。 4 給水管はMT型不凍栓を設け、管内の水を排水できるようにする。 5 ライニング管用のバルブ類はコアコートバルブ、ライニングバルブとする。 6 土間埋設配管は、管種に応じて架空配管と同じピッチにて土間スラブより吊ること。 7 排水管の勾配は屋内1/50屋外1/100を標準とする。 8 陶器の色は標準色同価格品とし監督員と協議の上決定する。 9 図示に表示は無くも、屋外露出施工の給水管・給湯管には、全てに自己制御型の凍結防止電気ヒーターを巻施工を行う。又、監督員の指示により、施工場所を事前に協議する。 10 冷媒用化粧ケースは、SUS製ラッキング仕上げとする。(屋外露出部分のみ) 11 防火区画を貫通する配管の処理は、前後1.0mを不燃材料にて施工のこと。	給水管	内外面塩化ビニール鋼管	JWWA-K-116VD	屋内埋設部分				
			給水管	内面塩化ビニール鋼管	JWWA-K-116VB	上記以外部分				
			給湯管	内外面耐熱塩化ビニール鋼管	WHT-LP	埋設部分				
			給湯管	耐熱塩化ビニール鋼管	HT-LP	上記以外部分				
			排水管	塩化ビニール管	JIS-K-6741(VP)					
			品名	メーカー名						
			衛生器具	TOTO株式会社	株式会社LIXIL					
			排水金物	株式会社長谷川精工所	伊藤鉄工株式会社	株式会社小島製作所				
			パイプ類 バルブ類	JIS規格品	JWWA規格品					



工事場所：菅吹市御坂町夏目原870

案内図



配置図

特記事項	変更事項	

設計年月： 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
承認	担当	作図	御坂西保育所トイレ改修工事	案内図・配置図
			1/400	M-02

撤去

衛生設備器具表

名称	型式	電源 (参考)	数	設置場所
和風便器			2	厨房便所・便所
紙巻器			2	厨房便所・便所

新設

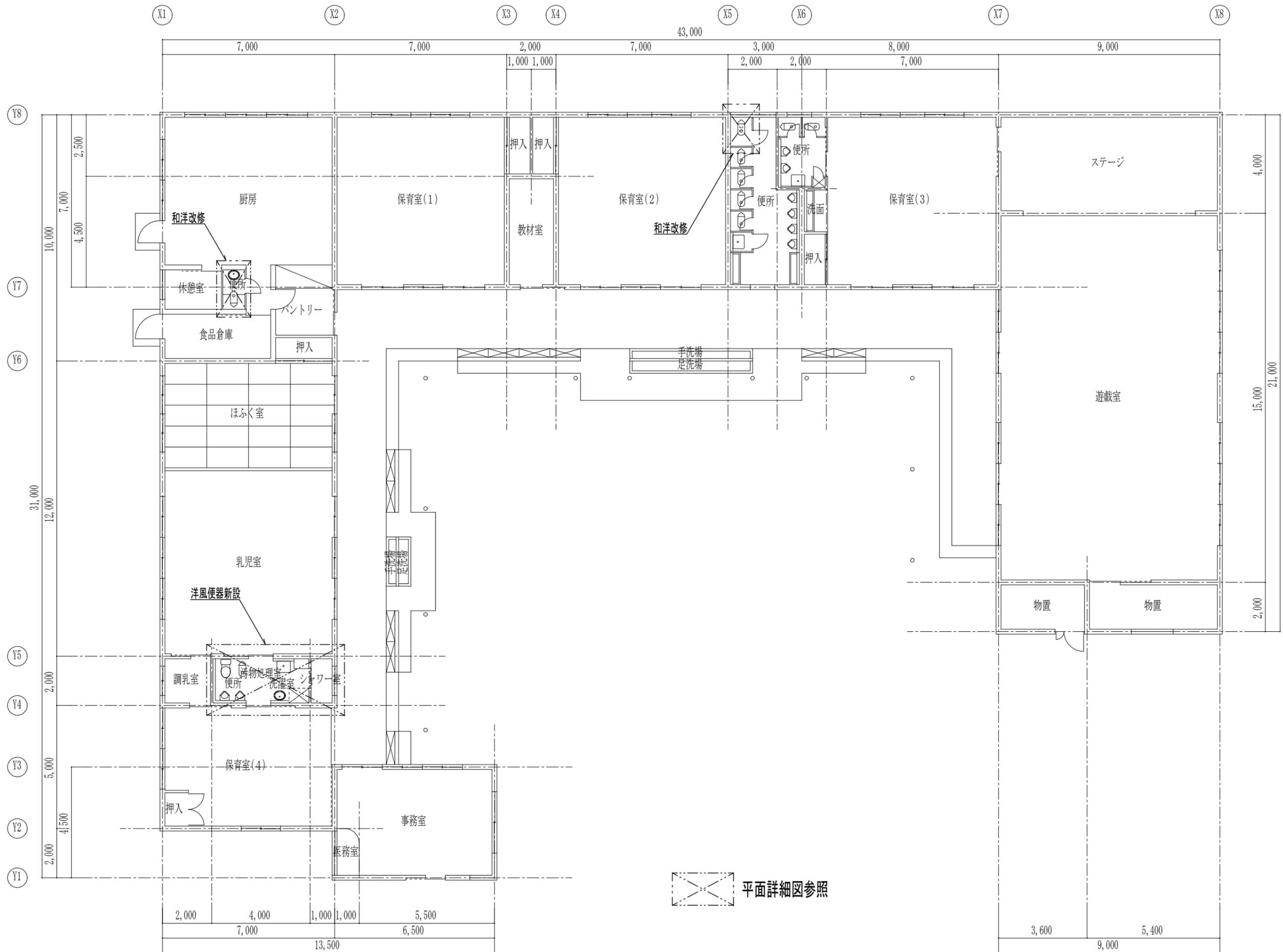
衛生設備器具表

名称	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	電源 (参考)	数	設置場所
洋風便器	CFS498BCK TCF5534AU (ウォシュレット)	BC-P110SMA DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NE-R1	1φ×100V×311W	3	厨房便所・便所・シャワー室
棚付二連紙巻器	YH702	CF-63HST		3	厨房便所・便所・シャワー室

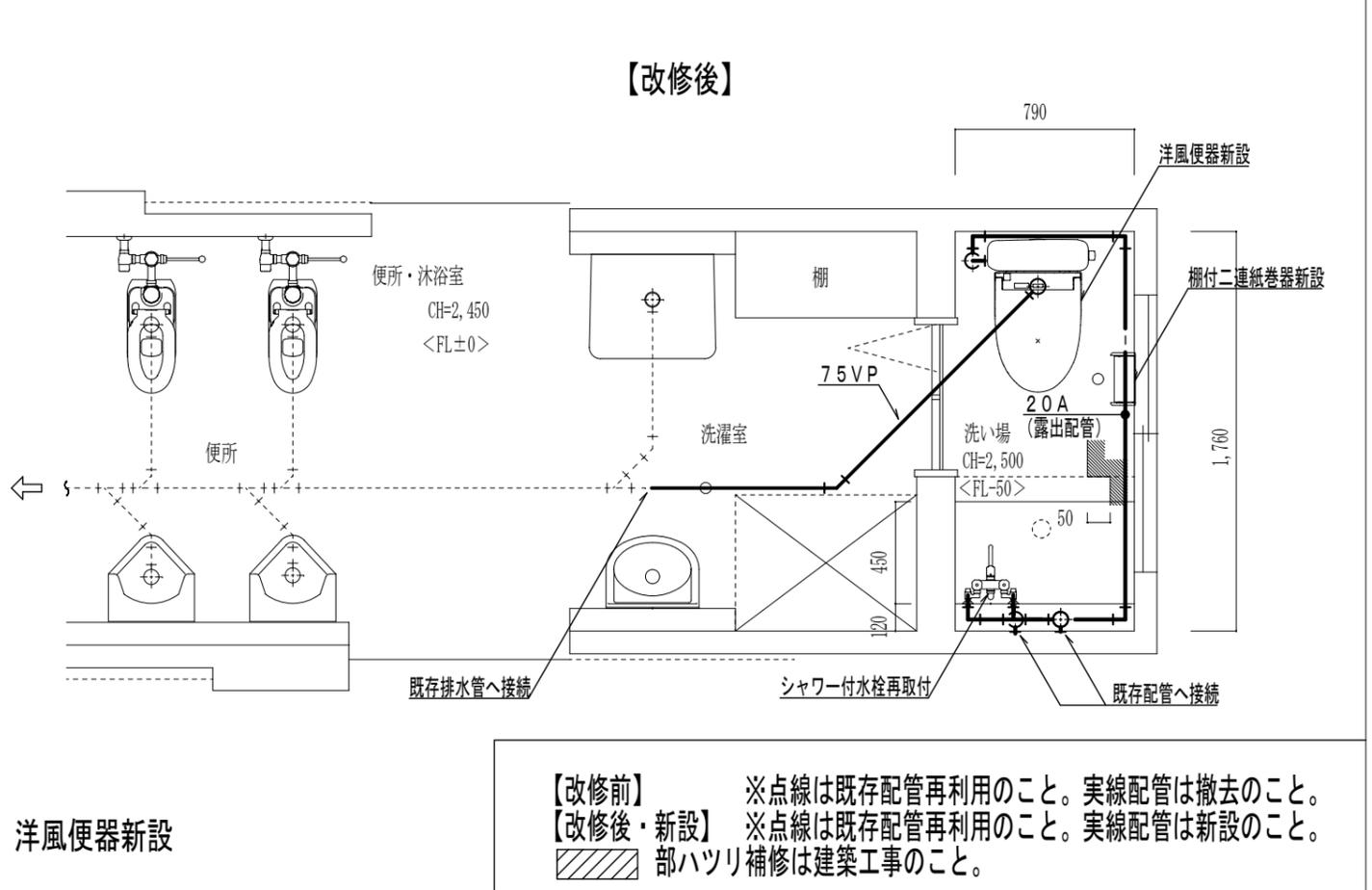
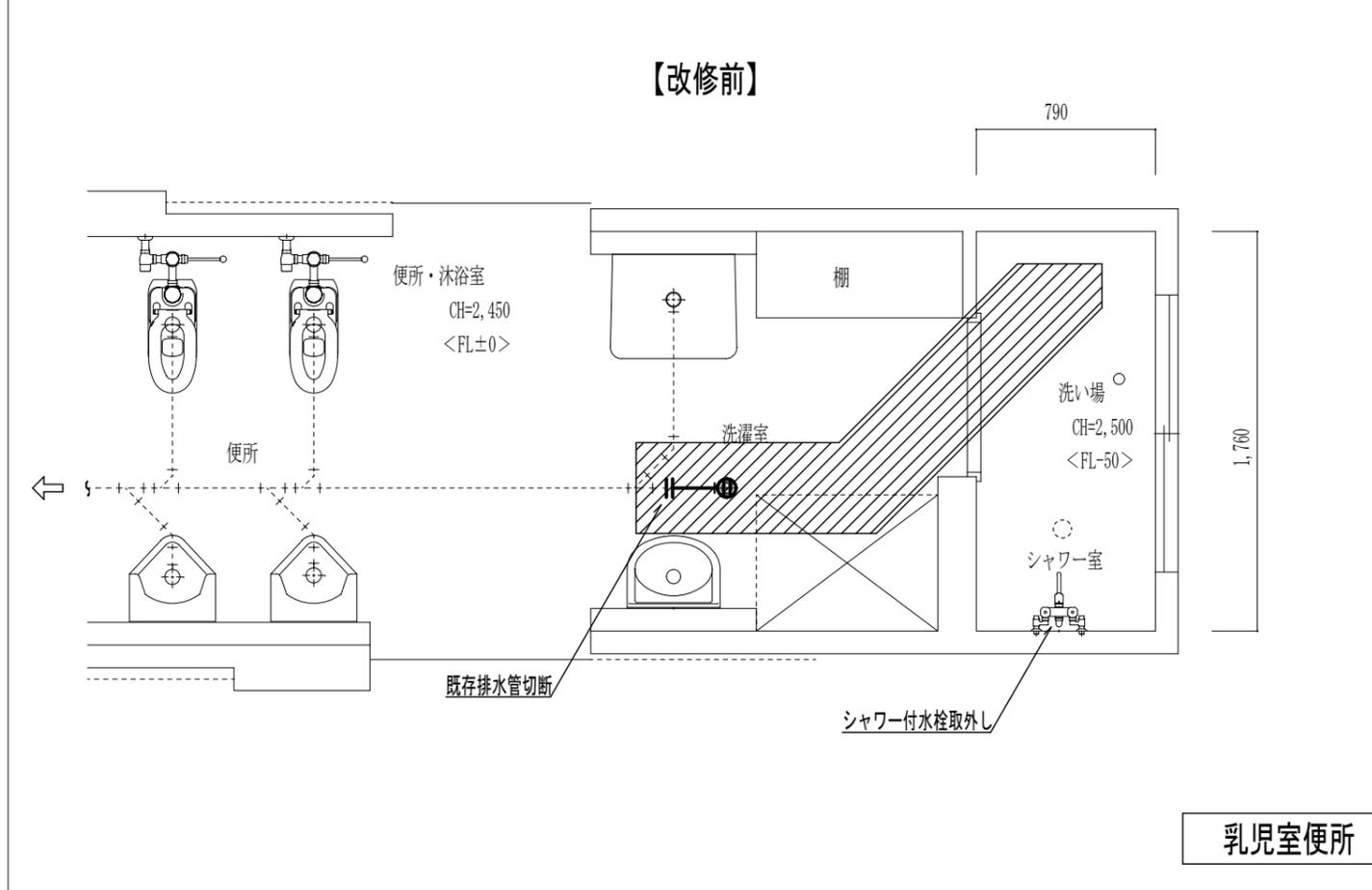
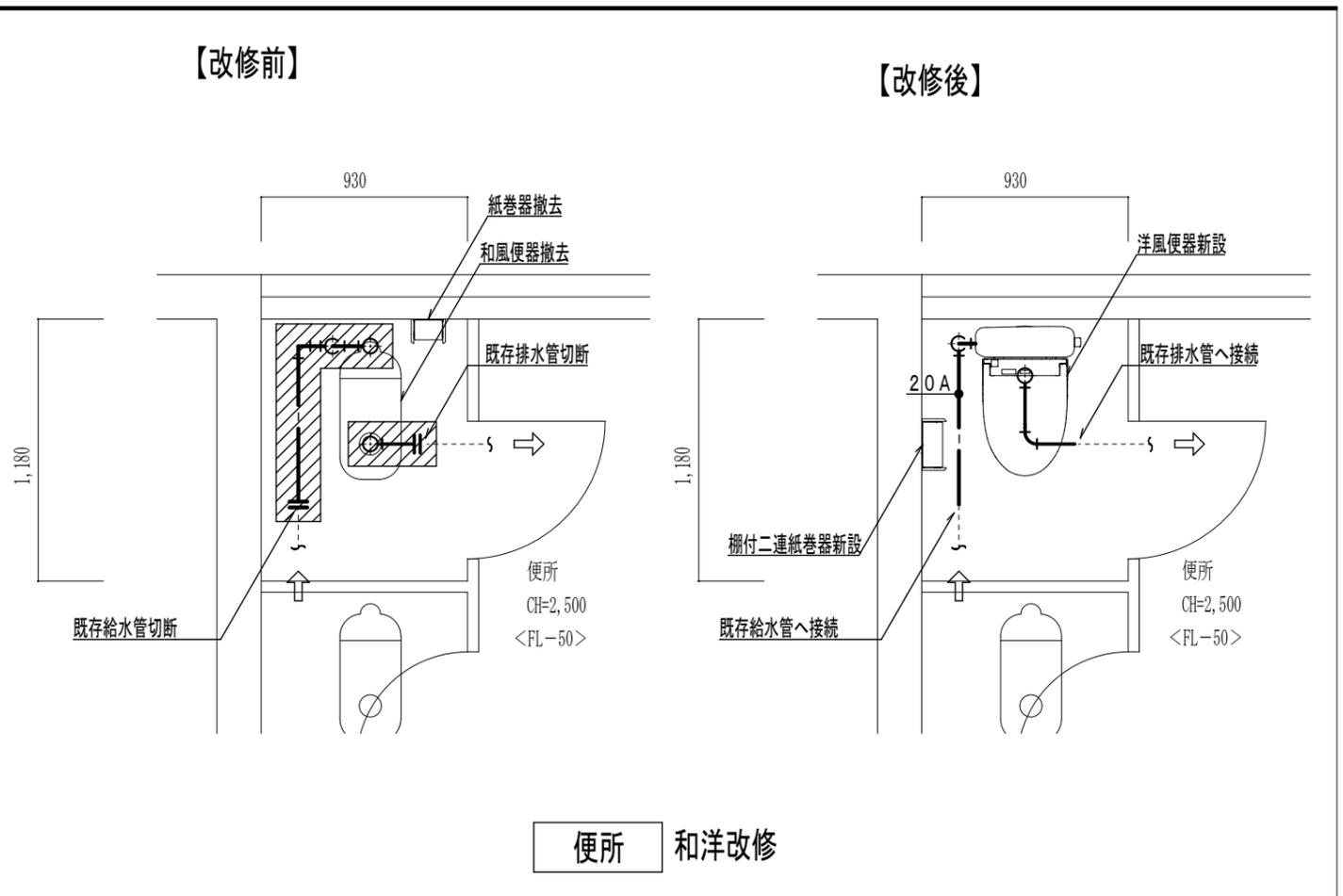
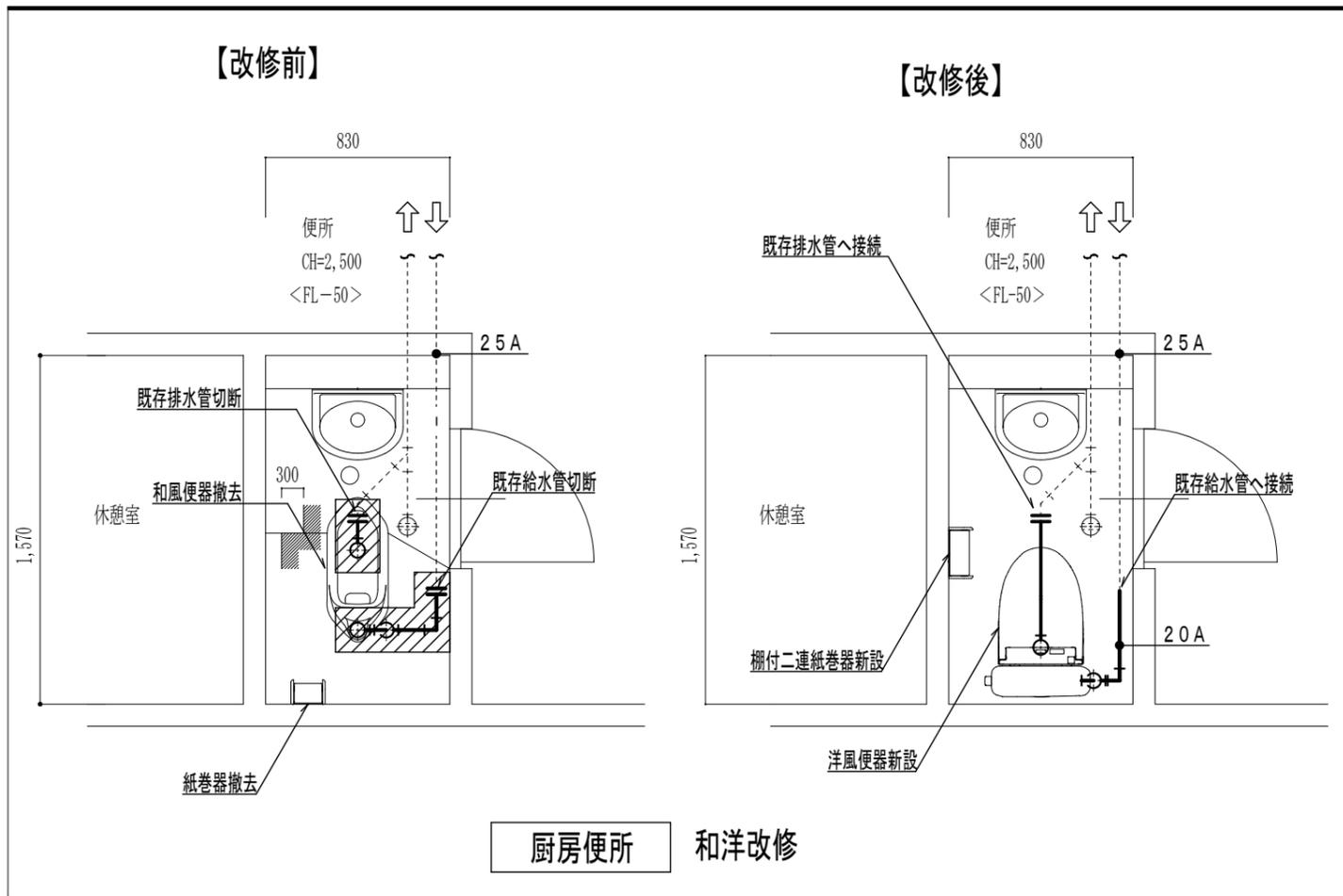
取外し・再取付

衛生設備器具表

名称	型式	電源 (参考)	数	設置場所
シャワー付水栓			1	シャワー室



特 記 事 項	変 更 事 項		設計年月: 2025.08	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認	担当	作図	御坂西保育所トイレ改修工事	平面図



特記事項	変更事項	設計年月: 2025.08	工事名称 御坂西保育所トイレ改修工事	図面名称 平面詳細図	縮尺 1/30	図面番号 M-05